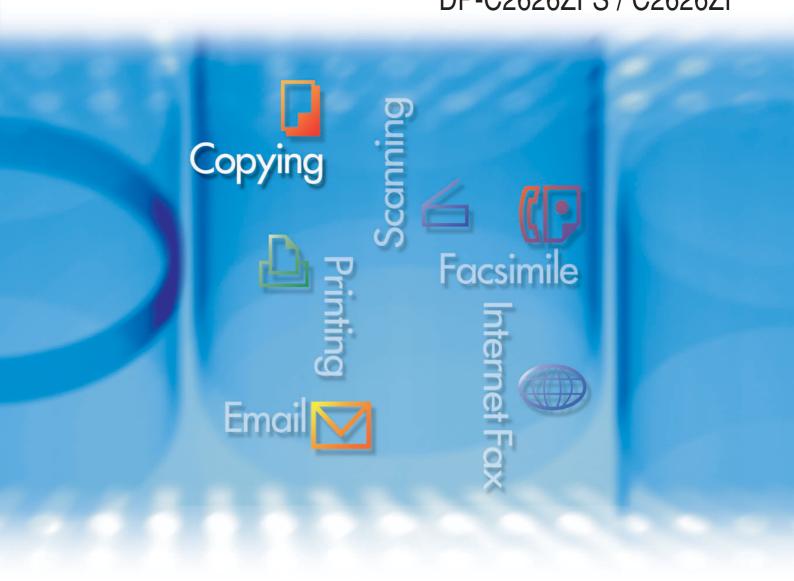
Panasonic®

取扱説明書

（コピー編）

フルカラーデジタル複合機

品番 DP-C3040ZFS / C3040Z
DP-C3030ZFS / C3030Z
DP-C2626ZFS / C2626ZF

Copying
Scanning
Facsimile
Printing
Internet Fax
Email

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●**ご使用前に『取扱説明書（基本編）』の「安全上のご注意」を必ずお読みください。**
●この取扱説明書は大切に保管してください。

● イラストはオプションを装着した例です。
詳しくは、『取扱説明書（基本編）』を参照してください。

本書の読みかた

ここでは、PDF のしおりの使いかた、参照ページの表示方法、本書の表記について説明します。

❑ しおりの使いかた

[+]をクリックすると、下の階層が表示されます。

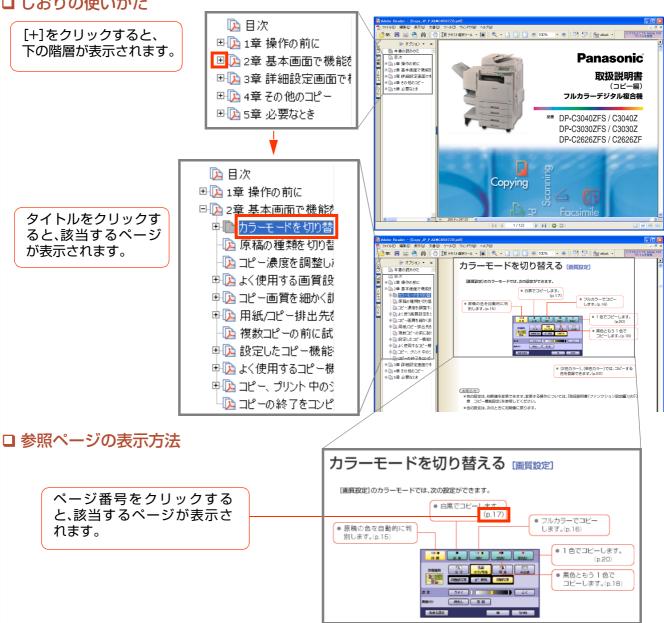
タイトルをクリックすると、該当するページが表示されます。

❑ 参照ページの表示方法

ページ番号をクリックすると、該当するページが表示されます。

カラーモードを切り替える [画質設定]

[画質設定]のカラーモードでは、次の設定ができます。

- 白黒でコピーします。(p.17)
- フルカラーでコピーします。(p.16)
- 原稿の色を自動的に判別します。(p.15)
- 1色でコピーします。(p.20)
- 黒色ともう1色でコピーします。(p.18)

(上記画面の内容は、実際の取扱説明書と異なる場合があります。)

❑ 本書の表記について

- 本書では、本機の操作パネルの各キー、タッチパネル上のボタン、コンピューター画面上のボタンなどについて、下記のように表記しています。

< >	操作パネルの各キー(例:スタートキー→**<スタート>**)
[ ]	タッチパネル上の各ボタン、コンピューター画面上のボタンなど (例:基本ボタン→[基本])

- 本機のタッチパネル上のカタカナ文字は、半角と全角が一部混在していますが、本書では、説明文はすべて全角に統一して表記しています。

目次

3 章 詳細設定画面で機能を設定してコピーする

4 章 その他のコピー

5 章 必要なとき

1 章
操作の前に

この章では、コピー機能のメニューマップ、原稿セットのしかた、基本的な操作について説明しています。

メニューマップ

コピーの画面に表示されるメニューと本書の参照先は、次のとおりです。

詳細設定画面

100%　1 A4 普通紙
基 本　詳細設定
自動　枚/部数
印刷写真　1

片面/両面　仕上げ　ズーム/編集　合紙/合成

片面→片面　両面→片面　ページ連写　Nイン1　原稿混載
片面→両面　両面→両面　ブック→両面　ブックレット　SADF

片面 / 両面
(p.54)

仕上げ(p.72)

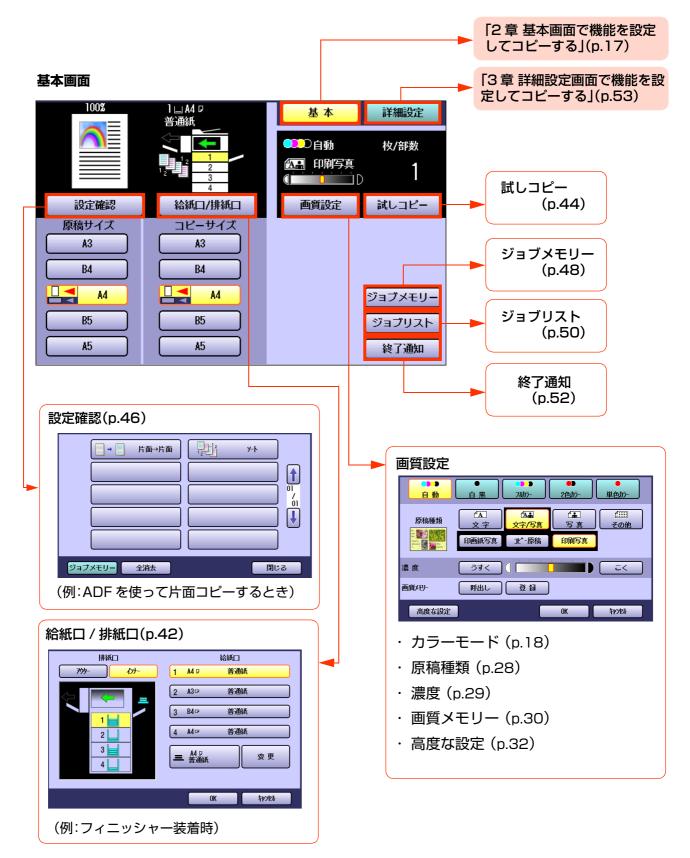
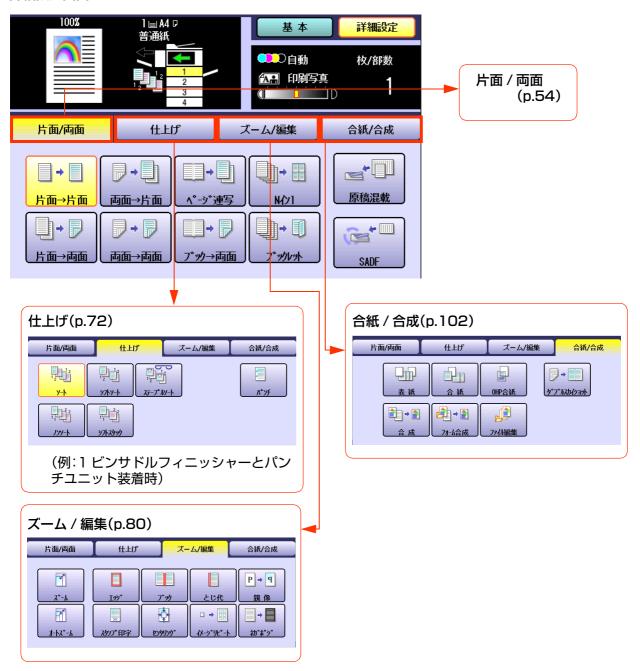
片面/両面　仕上げ　ズーム/編集　合紙/合成
ソート　シフトソート　ステープルソート　パンチ
ノンソート　シフトスタック

(例：1 ビンサドルフィニッシャーとパンチユニット装着時)

合紙 / 合成(p.102)

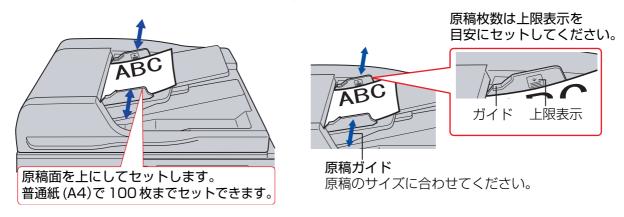
片面/両面　仕上げ　ズーム/編集　合紙/合成
表 紙　合 紙　OHP合紙　ダブルカバイショット
合 成　フォーム合成　ファイル編集

ズーム / 編集(p.80)

片面/両面　仕上げ　ズーム/編集　合紙/合成
ズーム　エッジ　ブック　とじ代　鏡 像
オートズーム　スタンプ印字　センタリング　イメージリピート　ネガポジ

暗証番号入力画面

部門カウンター管理が設定されていると、左の画面が表示されます。部門の暗証番号を入力してください。部門の暗証番号については、本機の管理者にお問い合わせください。

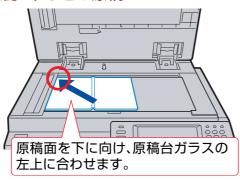
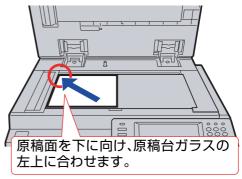
原稿セットのしかた

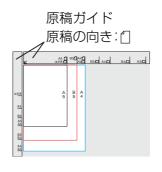
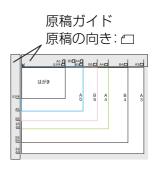
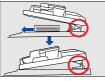
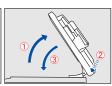
■ADF(自動原稿送り装置)を使う

■ ADF(自動原稿送り装置)を使うときのお願い

次のような原稿は使用できません。

- はがき、画用紙、OHP フィルム、半紙、ラベル用紙、厚紙、薄紙、アート紙、フィルム、感熱紙、和紙など
- 破れ、大きな穴やとじ穴(コンピューター用紙)のある原稿、大きくカールしていたり、折れのある原稿など

■原稿台ガラスを使う

❑ 雑誌・本などの原稿

❑ 1 枚紙の原稿

■ 原稿台ガラスを使うときのお願い

- 原稿は、左上にあるマーク(↙)に合わせてセットしてください。正しく原稿がセットされていない場合は、原稿の一部が欠けてコピーされます。
- 原稿が A5 サイズより小さいときは、A5 の枠内にセットし、原稿サイズを A5 に設定してください。
- 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、セットした原稿が最終原稿かどうかを確認する画面が表示されることがあります。画面のメッセージに従って進めてください。
- 厚い冊子をコピーすると、ADF の接合部が浮き上がることがあります。このような場合は、いったん ADF を開いてから閉じ、接合部が元の位置に戻ったことを確認してください。

- 厚い原稿をコピーするときは、原稿台ガラスに強い力がかからないようにしてください。原稿台ガラスが破損するおそれがあります。
- ADF を開いたままコピーするときは、下記に注意してください。
  - ・光源ランプを直視しないでください。目を傷める原因になることがあります。
  - ・原稿台ガラス面が周囲の光の影響を受けると、原稿位置を誤検知することがあります。そのときは、ADF を閉じてください。
  - ・原稿の周囲に余白(5 mm 以上)がないと正しく原稿範囲が検知されず、コピー画像が極端にみだれるときがあります。そのときは、『取扱説明書(ファンクション設定編)』を参照し、[コピー機能設定]＞[08 スカイショットモード切り替え]を[なし]に設定してください。
- [ページ連写]を利用して厚い冊子などの原稿をコピーする場合、原稿台ガラスの左上に合わせてセットすると、ズレが生じることがあります。
  このような場合は、原稿台ガラスにある原稿サイズの表示に、冊子など中央を合わせようにしてセットしてください。
  例:A4 サイズの冊子の場合　　冊子の中央を A4 の表示に合わせてセットする

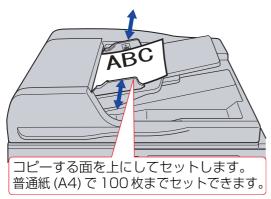
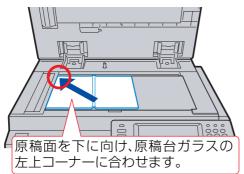
基本的なコピー操作

ここでは、次の基本的なコピー操作について説明します。

❑ 原稿と同じサイズでコピーする(p.12)
❑ 拡大 / 縮小してコピーする(p.14)

■原稿と同じサイズでコピーする

原稿をセットすると、原稿サイズが自動的に検知され、等倍のコピーサイズが設定されます。

1. 原稿をセットする

- 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. 必要に応じて、コピー機能を設定する

- [原稿サイズ]と[コピーサイズ]は、原稿サイズを検知して自動的に選択されます。
- 給紙カセットにない用紙にコピーしたい場合は、手差しトレイに用紙をセットし、[給紙口 / 排紙口]の設定を変更してください。手差しトレイに用紙をセットする方法は、『取扱説明書(メンテナンス編)』の「用紙の補給」を参照してください。[給紙口 / 排紙口]の設定を変更する操作については、「用紙/コピー排出先を切り替える [給紙口/排紙口]」(p.42)を参照してください。
- カラーモードが[自動]に設定されている場合、原稿がカラーのときはフルカラーで、原稿が白黒のときは白黒でコピーされます。お買い上げ時のカラーモードは、[自動]に設定されています。
- 原稿の向きと用紙の向きが異なるときは、自動的に画像を回転してコピーします。
- 基本画面の操作について、詳しくは「2 章 基本画面で機能を設定してコピーする」(p.17)を参照してください。
- 詳細設定画面の操作について、詳しくは「3 章 詳細設定画面で機能を設定してコピーする」(p.53)を参照してください。

4. コピー部数を入力する（999 部まで）

- ファクス機能が搭載されている場合、一定の桁数（4～8桁）の数字を入力すると、自動的にファクスモードに切り替わることがあります。
  これは、ファンクション設定の[ファクス/Eメール機能設定]＞[04 キーオペレーター専用]＞[01 システムの登録]＞[118　自動ファクス切替]で、一定の桁数の数字を入力すると、自動的に切り替わるように設定されているためです（お買い上げ時は、6 桁で切り替わるように設定されています）。
  設定を変更する場合は、『取扱説明書（ファンクション設定編）』の「４章　ファクス/Eメール機能設定」を参照してください。

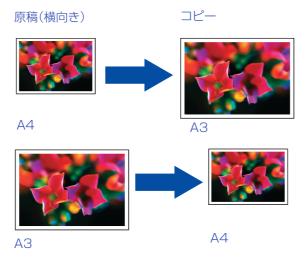
5. <スタート>を押す

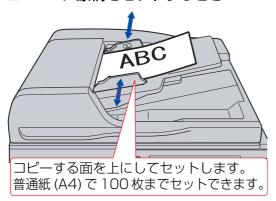
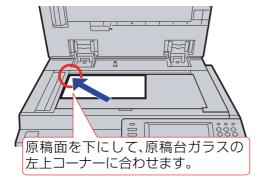
- 原稿台ガラスに原稿をセットしたときは、セットした原稿が最終原稿かどうかを確認する画面が表示されることがあります。メッセージに従って操作してください。

- コピーを中止するときは、**<ストップ>**、または[ストップ]を押して、中止を確認する画面で[はい]を押してください。

- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■拡大 / 縮小してコピーする

原稿をセットすると、自動的にコピーサイズが等倍に設定されますが、コピーサイズを変更することによって、拡大 / 縮小してコピーできます。

1. 原稿を横向き（ ）にセットする

❑ ADF に原稿をセットするとき

❑ 原稿台ガラスに原稿をセットするとき

- 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」（p.10）を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. コピーサイズを変更する

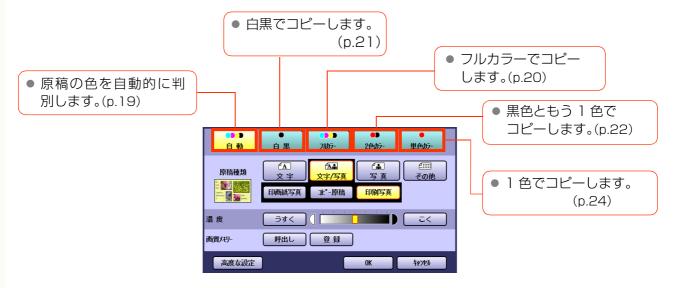
- 選択したコピーサイズに合わせて拡大 / 縮小が設定され、倍率（%）がタッチパネルに表示されます。
- A4、A5 サイズでコピーするときは、コピーサイズで A4 、A5 を選択すると、連続でのコピースピードが早くなります。コピーされたイメージは、自動で 90 度回転されます。
- 定型外のサイズで拡大･縮小する場合は、「任意の倍率でコピーする［ズーム / 編集］」（p.80）を参照してください。

- 給紙カセットにない用紙にコピーしたい場合は、手差しトレイに用紙をセットし、[給紙口 / 排紙口]の設定を変更してください。手差しトレイに用紙をセットする方法は、『取扱説明書(メンテナンス編)』の「用紙の補給」を参照してください。[給紙口 / 排紙口]の設定を変更する操作については、「用紙/コピー排出先を切り替える [給紙口/排紙口]」(p.42)を参照してください。
- このあとの操作については、「原稿と同じサイズでコピーする」(p.12)の手順3～5を参照してください。

2章 基本画面で機能を設定してコピーする

この章では、基本設定を使ったコピーの操作について説明しています。

カラーモードを切り替える [画質設定]

[画質設定]のカラーモードでは、次の設定ができます。

● [2色カラー]、[単色カラー]では、コピーする色を登録できます。(p.26)

お知らせ

- 色の設定は、初期値を変更できます。変更する操作については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「3 章　コピー機能設定」を参照してください。
- 色の設定は、次のときに初期値に戻ります。
  - ･電源を OFF にしたとき
  - ･**<リセット>**を押したとき
  - ･コピージョブが完了し、オートクリアタイムを経過したとき(お買い上げ時の設定:1 分)

■原稿の色を自動検知させる ［自動］

原稿の色を自動的に判別し、カラーのときはフルカラーで、白黒のときは白黒でコピーします。

カラー原稿

白黒原稿

お知らせ

●お買い上げ時のカラーモードは、［自動］に設定されているので、通常は操作する必要はありません。キーオペレーターによって、カラーモードの初期値が変更されているときに設定します。

1. **原稿をセットする**

- 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

2. **他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す**

3. **［画質設定］を押す**

4. **［自動］を選択し、［OK］を押す**

5. **コピー部数を入力する**

6. **<スタート>を押す**

- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■フルカラーモードに切り替える ［フルカラー］

カラー原稿をフルカラーでコピーします。

カラー原稿

1. **原稿をセットする**

- 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

2. **他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す**

3. **［画質設定］を押す**

4. **［フルカラー］を選択し、［OK］を押す**

5. **コピー部数を入力する**

6. **<スタート>を押す**

- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■白黒モードに切り替える [白黒]

原稿の色に関係なく、白黒でコピーします。

カラー原稿

1. **原稿をセットする**

- 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

2. **他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す**

3. **[画質設定]を押す**

4. **[白黒]を選択し、[OK]を押す**

5. **コピー部数を入力する**

6. **<スタート>を押す**

- 設定したコピー機能は、一定時間後(お買い上げ時の設定:1 分)に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■2 色モードに切り替える [2 色カラー]

黒色と設定したもう 1 色の2色でコピーします。もう 1 色は、基本色（赤、緑、青、イエロー、マゼンタ、シアン）、または登録した色から選択できます。

例：カラー原稿をシアンと黒でコピー

お知らせ

- [2 色カラー] を設定しているときは、「原稿種類」は設定できません。

1. 原稿をセットする

- 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」（p.10）を参照してください。

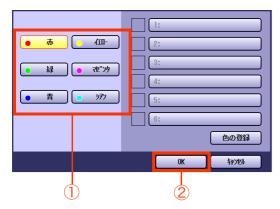
2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. [画質設定] を押す

4. [2 色カラー] を選択する

5. [色変更] を押す

- 設定されている色と色名が表示されます。
- 色を変更しないときは、手順7に進んでください。

6. 色を選択し、[OK] を押す

❑ 基本色から選択するとき

❑ 登録した色から選択するとき

- 色を登録する操作については、「お好み色を登録する ［色の登録］」（p.26）を参照してください。

7. [OK] を押す

例：シアンを選択したとき

8. コピー部数を入力する

9. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■単色モードに切り替える [単色カラー]

設定した色でコピーします。色は、基本色(赤、緑、青、イエロー、マゼンタ、シアン)、または登録した色から選択できます。

例:カラー原稿をシアンでコピー

例:白黒原稿をシアンでコピー

お知らせ

- [単色カラー]を設定しているときは、「原稿種類」は設定できません。

1. 原稿をセットする

- 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

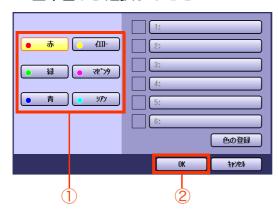
2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

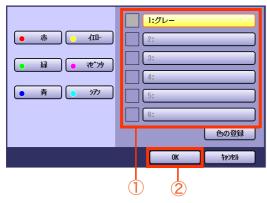
3. [画質設定]を押す

4. [単色カラー]を選択する

5. [色変更]を押す

- 設定されている色と色名が表示されます。
- 色を変更しないときは、手順7に進んでください。

6. 色を選択し、[OK] を押す

❏ 基本色から選択するとき

❏ 登録した色から選択するとき

- 色を登録する操作については、「お好み色を登録する ［色の登録］」(p.26)を参照してください。

7. [OK] を押す

例：シアンを選択したとき

8. コピー部数を入力する

9. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■お好み色を登録する [色の登録]

シアン、マゼンタ、イエローの割合値を指定して作成した色を6色まで登録できます。登録した色は、次の機能で使用できます。

機能	参照先
[基本]>[画質設定]>[2 色カラー]	「2 色モードに切り替える [2 色カラー]」(p.22)
[基本]>[画質設定]>[単色カラー]	「単色モードに切り替える [単色カラー]」(p.24)
[詳細設定]>[合紙 / 合成]>[合成]	「1 ページ目の原稿と合成する [合成]」(p.108)
[詳細設定]>[合紙 / 合成]>[ファイル編集]	「フォームを登録する [ファイル編集]」(p.113)

お知らせ

- 登録色は、番号と名称が各設定共通で管理されます。例えば、[2色カラー]と[単色カラー]で同じ番号の登録色を使用していた場合、[2色カラー]でその番号の色を変更すると、[単色カラー]の色も変更されます。
- 登録した名前や色設定などを変更するときは、登録した色のボタンを押して、変更が必要な部分だけを再設定してください。
- 登録色の削除は、ファンクション設定で行います。操作については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「3 章　コピー機能設定」を参照してください。

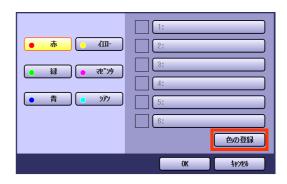
1. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

2. [画質設定]を押す

3. [2 色カラー]、または[単色カラー]を選択する

4. [色変更]を押す

例:[2 色カラー]を選択したとき

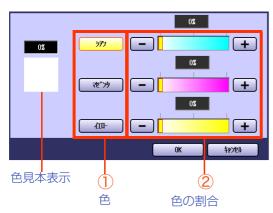
5. [色の登録]を押す

6. 登録するボタンを押し、[OK]を押す

❑ 新しく登録するとき

名称が表示されていないボタンを押します。

❑ 登録されている色を変更するとき

変更する色のボタンを押します。

7. 設定する色を選択し、色の割合を[ー]、[+]、またはテンキーを使って設定する

- 設定した色は、画面の色見本表示で確認できます。
- [シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]の合計が240%以下になるように設定してください。

8. 色の設定が終わったら、[OK]を押す

9. 画面のキーボードを使って登録した色の名称を入力し、[OK]を押す

- 全角 10 文字以内で入力してください。
- キーボードの使いかたについて、詳しくは「文字入力のしかた」(p.130)を参照してください。

10. 設定した色と名称を確認し、[OK]を押す

原稿の種類を切り替える [画質設定] > [原稿種類]

文字原稿、写真原稿など、原稿のタイプに合わせた画質でコピーします。

文字原稿

文字 / 写真混在原稿

写真原稿

その他の原稿

お知らせ

- [2 色カラー]、または[単色カラー]を設定しているときは、[原稿種類]は設定できません。
- 「原稿種類」は、初期値を変更できます。変更する操作については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「3 章　コピー機能設定」を参照してください。

1. **原稿をセットする**

- 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

2. **他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す**

3. **[画質設定]を押す**

4. **原稿種類を選択し、[OK]を押す**

文字	印刷文字	印刷原稿
	鉛筆文字	鉛筆書き原稿
文字 / 写真	印画紙写真	印画紙に印刷された原稿
	コピー原稿	レーザープリンターで印刷された原稿
	印刷写真	パンフレットなどの印刷物
写真	印画紙写真	印画紙に印刷された写真
	コピー原稿	レーザープリンターで印刷された写真
	印刷写真	パンフレットなどの写真
その他	地図	地図
	トレーシングペーパー	紙の厚さが薄い原稿
	新聞	背景が白以外の原稿

5. **コピー部数を入力する**

6. **<スタート>を押す**

- 設定したコピー機能は、一定時間後(お買い上げ時の設定:1 分)に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

コピー濃度を調整する ［画質設定］>［濃度］

コピーする色をうすくしたり、濃くしたりしてコピーします。

うすく

こく

お知らせ

●「濃度」は、初期値を変更できます。変更する操作については、『取扱説明書（ファンクション設定編）』の「3 章　コピー機能設定」を参照してください。

1. 原稿をセットする

● 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. ［画質設定］を押す

4. ［うすく］、［こく］を押して濃度を設定し、［OK］を押す

うすく	色をうすくコピーしたいとき
こく	色を濃くコピーしたいとき

5. コピー部数を入力する

6. <スタート>を押す

● 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

よく使う画質設定を登録する [画質メモリー]

よく使う画質の設定を画質メモリーとして登録しておくと、設定を呼び出して簡単にコピーできます。

お知らせ
- 画質メモリーを呼び出す操作については、「呼び出してコピーする [呼出し]」(p.31)を参照してください。
- 一度登録した画質メモリーは、新しい設定を上書きするまで削除されません。

■登録する [登録]

次の画質の設定を画質メモリーとして登録できます。
- ❑ カラーモード(自動、白黒、フルカラー、2 色カラー、単色カラー)
- ❑ 原稿種類
- ❑ 濃度
- ❑ 高度な設定(地色除去、裏写り防止、赤み青み強調、コントラスト、シャープネス、彩度、カラーバランス、ほか)

1. 原稿をセットする
- 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. [画質設定]を押す

4. 画質を設定する

5. [登録]を押す

(例:原稿種類を[コピー原稿]に設定するとき)

6. 画質メモリーのボタンを選択して[OK]を押す

❑ 新しく画質メモリーを登録するとき

名称が表示されていない画質メモリーボタンを押します。

❑ 画質メモリーを更新するとき

更新する画質メモリーボタンを押します。

7. 画質メモリー名を入力し、[OK]を押す

- 名称なしでは、登録できません。
- 全角 10 文字以内で入力してください。
- キーボードの使いかたについて、詳しくは「文字入力のしかた」(p.130)を参照してください。

8. [OK]を押す

9. コピー部数を入力する

10. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後(お買い上げ時の設定：1 分)に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■ 呼び出してコピーする[呼出し]

画質メモリーとして登録されている画質設定を呼び出してコピーできます。

お知らせ

画質メモリーを登録する操作については、「登録する［登録］」(p.30)を参照してください。

1. [呼出し]を押す

- この画面を表示する操作については、「登録する［登録］」(p.30)の手順 1 ～ 3 を参照してください。

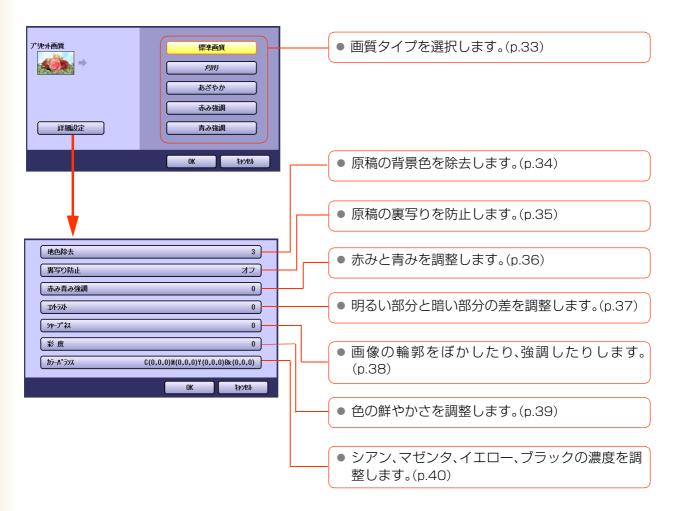
2. 画質メモリーのボタンを選択し、[OK]を押す

選択した画質メモリーの画質が設定されます。

3. [OK]を押す

- このあとの操作については、左コラムの手順 9 ～ 10 を参照してください。

コピー画質を細かく調整する [画質設定]＞[高度な設定]

[画質設定]の[高度な設定]では、次の設定ができます。

お知らせ

- [詳細設定]の各項目は、初期値を変更できます。変更する操作については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「3 章　コピー機能設定」を参照してください。
- 画質設定は、次のときに標準設定に変わります。
  - ・電源を OFF にしたとき
  - ・**<リセット>**を押したとき
  - ・[高度な設定]の[標準画質]を設定したとき
  - ・オートクリアタイムを経過したとき(お買い上げ時の設定：1 分)
- [詳細設定]を設定すると、メリハリ、あざやかなどの画質タイプの設定は、取り消されます。

■メリハリ、あざやか、赤み、または青みを効かせる [高度な設定]

次の５つの画質タイプから選択して画質を設定できます。

・標準画質　・メリハリ　・あざやか
・赤み強調　・青み強調

1. 原稿をセットする

● 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. [画質設定]を押す

4. [高度な設定]を押す

5. 画質タイプを選択して、[OK]を押す

標準画質	ファンクション設定で設定した初期値の画質でコピーしたいとき
メリハリ	メリハリのある画質でコピーしたいとき
あざやか	あざやかな画質でコピーしたいとき
赤み強調	赤っぽくコピーしたいとき
青み強調	青っぽくコピーしたいとき

● [原稿種類]で[トレーシングペーパー]を選択したときは、各画質タイプとも[裏写り防止]が「3」に設定されます。

● [標準画質]の設定値は、キーオペレーターがファンクション設定で変更できます。

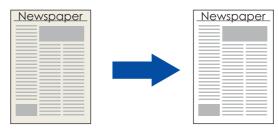
6. [OK]を押す

7. コピー部数を入力する

8. <スタート>を押す

● 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■原稿の背景色を除去する ［地色除去］

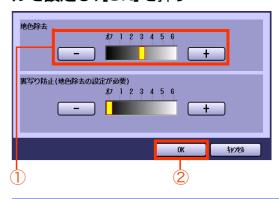
原稿の背景色を除去してコピーできます。
新聞や背景に色がついている原稿などをコピーするときに便利です。

お知らせ

- 「原稿種類」で［写真］を選択しているときは、［地色除去］は使用できません。

1. ［詳細設定］を押す

- この画面を表示する操作は、「メリハリ、あざやか、赤み、または青みを効かせる［高度な設定］」(p.33)の手順 1 ～ 4 を参照してください。

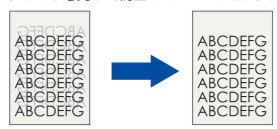
2. ［地色除去］を押す

3. ［−］、［+］を押して［地色除去］のレベルを設定し、［OK］を押す

地色除去	6 つのレベルで設定します。レベル値が高くなるほど、濃い背景色を除去できます。

4. ［OK］を押す

- このあとの操作は、「メリハリ、あざやか、赤み、または青みを効かせる［高度な設定］」(p.33)の手順 6 ～ 8 を参照してください。

■裏写りを防止する ［裏写り防止］

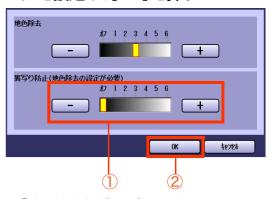
紙の厚さが薄い原稿をコピーするとき、裏写りを防止してコピーできます。

お知らせ

- 「原稿種類」で［写真］を選択しているときは、［裏写り防止］の設定は無効となります。
- 「原稿種類」で［トレーシングペーパー］を選択しているときは、［裏写り防止］は自動的にレベル 3 に設定されます。
- ほかの設定（赤み青み強調など）によっては、裏写りすることがあります。

1. ［詳細設定］を押す

- この画面を表示する操作は、「メリハリ、あざやか、赤み、または青みを効かせる［高度な設定］」（p.33）の手順 1 ～ 4 を参照してください。

2. ［裏写り防止］を押す

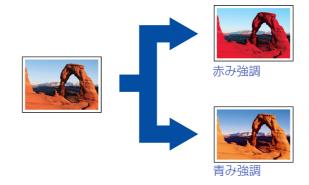
3. ［－］、［＋］を押して、［裏写り防止］のレベルを設定し、［OK］を押す

- 「地色除去」が［オフ］に設定されていると、「裏写り防止」は設定できません。

裏写り防止	6 つのレベルで設定します。レベル値が高くなるほど、防止効果が高まります。ただし、高く設定するほど、コピーイメージもうすくなります。

4. ［OK］を押す

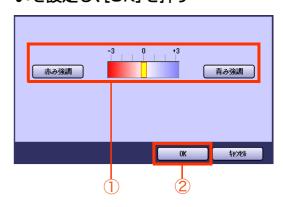
- このあとの操作は、「メリハリ、あざやか、赤み、または青みを効かせる［高度な設定］」（p.33）の手順 6 ～ 8 を参照してください。

■赤みと青みを調整する [赤み青み強調]

赤みと青みの強さを調整してコピーできます。

1. [詳細設定]を押す

- この画面を表示する操作は、「メリハリ、あざやか、赤み、または青みを効かせる [高度な設定]」(p.33)の手順 1 〜 4 を参照してください。

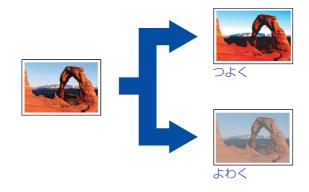
2. [赤み青み強調]を押す

3. [赤み強調]、[青み強調]を押して色合いを設定し、[OK]を押す

赤み強調	赤っぽくしたいとき(青みが弱くなります)
青み強調	青っぽくしたいとき(赤みが弱くなります)

4. [OK]を押す

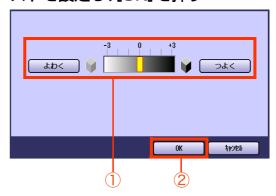
- このあとの操作は、「メリハリ、あざやか、赤み、または青みを効かせる [高度な設定]」(p.33)の手順 6 〜 8 を参照してください。

■コントラストを調整する ［コントラスト］

明るい部分と暗い部分の差を調整してコピーできます。

1. ［詳細設定］を押す

● この画面を表示する操作は、「メリハリ、あざやか、赤み、または青みを効かせる［高度な設定］」(p.33)の手順 1 ～ 4 を参照してください。

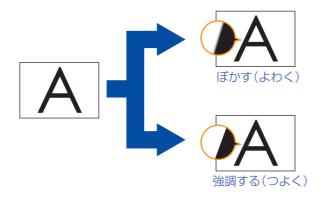
2. ［コントラスト］を押す

3. ［よわく］、［つよく］を押して、コントラストを設定し、［OK］を押す

よわく	明るい部分と暗い部分の差をなくしたいとき
つよく	明るい部分と暗い部分の差をはっきりさせたいとき

4. ［OK］を押す

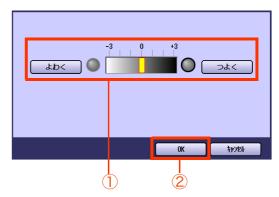
● このあとの操作は、「メリハリ、あざやか、赤み、または青みを効かせる［高度な設定］」(p.33)の手順 6 ～ 8 を参照してください。

■画像のシャープさを調整する ［シャープネス］

画像の輪郭をぼかしたり、強調したり、調整してコピーできます。

1. ［詳細設定］を押す

- この画面を表示する操作は、「メリハリ、あざやか、赤み、または青みを効かせる［高度な設定］」(p.33)の手順 1 ～ 4 を参照してください。

2. ［シャープネス］を押す

3. ［よわく］、［つよく］を押して、シャープネスを設定し、［OK］を押す

よわく	画像の輪郭をぼかしたいとき
つよく	画像の輪郭を強調したいとき

4. ［OK］を押す

- このあとの操作は、「メリハリ、あざやか、赤み、または青みを効かせる［高度な設定］」(p.33)の手順 6 ～ 8 を参照してください。

■彩度を調整する ［彩度］

色の鮮やかさの度合いを調整してコピーできます。

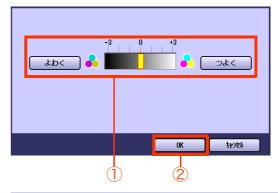
よわく

つよく

1. ［詳細設定］を押す

- この画面を表示する操作は、「メリハリ、あざやか、赤み、または青みを効かせる ［高度な設定］」(p.33)の手順 1 ～ 4 を参照してください。

2. ［彩度］を押す

3. ［よわく］、［つよく］を押して、彩度を設定し、［OK］を押す

よわく	色の鮮やかさの度合いを弱くしたいとき
つよく	色の鮮やかさの度合いを強くしたいとき

4. ［OK］を押す

- このあとの操作は、「メリハリ、あざやか、赤み、または青みを効かせる ［高度な設定］」(p.33)の手順 6 ～ 8 を参照してください。

■カラーバランスを調整する ［カラーバランス］

シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックのそれぞれの色に対して、高濃度、中濃度、低濃度のレベルを調整してコピーできます。

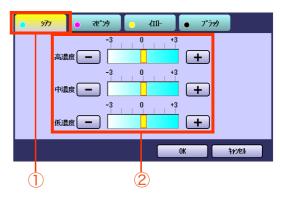
お知らせ

- 色ごとに濃度を 3 つの段階に分け、その段階ごとに微調整することができます。
  この設定は、カラー写真の微調整などに使用するための機能です。各段階で調整できる範囲は、ごくわずかなので、画像編集ソフトウェアのように、色合いを大きく変化させることはできません。

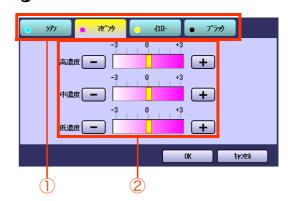
1. ［詳細設定］を押す

- この画面を表示する操作は、「メリハリ、あざやか、赤み、または青みを効かせる［高度な設定］」(p.33)の手順 1 ～ 4 を参照してください。

2. ［カラーバランス］を押す

3. ［シアン］を押し、［−］、［+］を押して「高濃度」、「中濃度」、「低濃度」の範囲内の濃度をそれぞれ設定する

- 濃度の区分は、最も濃いレベル(100%)から、最もうすいレベル(0%)までを3等分したものです。

高濃度	最も濃い範囲
中濃度	高濃度と低濃度の中間の範囲
低濃度	最もうすい範囲

4. 手順 3 と同じ操作で、［マゼンタ］、［イエロー］、［ブラック］の各濃度を設定する

5. **すべての色の設定が終わったら[OK]を押す**

6. **[OK]を押す**

- このあとの操作は、「メリハリ、あざやか、赤み、または青みを効かせる［高度な設定］」(p.33)の手順６～８を参照してください。

用紙 / コピー排出先を切り替える [給紙口 / 排紙口]

給紙口の設定では、給紙カセットの選択や手差しトレイの用紙の種類を設定することができます。
排出口の設定では、フィニッシャーが装着されているときに、排出先をフィニッシャーと排出トレイとで切り替えることができます。

■コピーする用紙を選択する

コピーサイズを設定すると、自動で給紙カセットが選択されますが、手動で切り替えたいときは、次の手順で設定します。

お知らせ

- 給紙カセットの用紙種別を設定する操作については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「2 章 共通機能設定」を参照してください。

1. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

2. [給紙口 / 排紙口] を押す

3. 給紙口 1 ～ 4、または手差しトレイを選択し、[OK] を押す

コピーする用紙が選択されます。

■給紙カセットにない用紙でコピーする(手差しトレイ)

給紙カセットにない用紙にコピーしたいときは、手差しトレイに用紙をセットし、次の手順で用紙の種類を設定します。

お知らせ

- 手差しトレイにセットにできる用紙については、『取扱説明書(基本編)』の「用紙について」を参照してください。

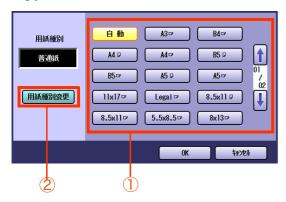
1. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

2. [給紙口 / 排紙口] を押す

- 原稿の向きと手差しトレイの用紙の向きが異なるとき、コピーイメージの表示が次のようになることがあります。その場合は、原稿と手差しトレイの用紙が、同じ向きになるようにセットし直してください。

向きが異なるとき　　向きが同じとき

3. [変更]を押す

4. 用紙サイズを選択し、[用紙種別変更]を押す

5. 用紙の種別を選択し、[OK]を押す

6. [OK]を押す

用紙の種類が設定されます。

■コピー排出先を切り替える

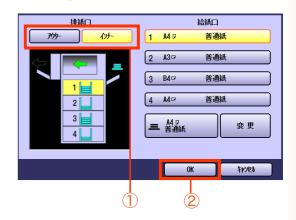
フィニッシャーを装着しているときは、必要に応じて、コピーの排出先をアウター(フィニッシャー)にしたり、インナー(排出トレイ)にしたりすることができます。

お知らせ

- 排紙口は、初期値を変更できます。変更する操作については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「2 章　共通機能設定」を参照してください。

1. 他のモードが表示されているときは、**<コピー>を押す**

2. [給紙口 / 排紙口]を押す

3. 「排紙口」を選択し、[OK]を押す

排紙口が設定されます。

複数コピーの前に試しのコピーをする [試しコピー]

複数部数コピーするときは、確認用として1部目だけ試しにコピーしたあとで、残りを継続してコピーできます。

試しに 1 部だけコピー　　確認して残りをコピー

1. 原稿をセットする

- 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. 必要に応じて画質の設定をする

4. コピー部数を入力する

5. [試しコピー]を押す

6. <スタート>を押す

1 部目だけ排出されます。

7. 試したコピー設定で良いときは、[はい]を押す

残りの部数がコピーされます。

❑ 試しコピーを再度とりたいときは

① [いいえ]を押して、基本画面に戻る
② 原稿を再度セットする
③ 読み取りの設定を変更する
④ **<スタート>**を押す
試しコピーが 1 部排出されます。
⑤ 再度設定したコピー設定で良いときは、[はい]を押す
残りの部数がコピーされます。

設定したコピー機能を確認する [設定確認]

コピーを始める前に設定した内容を確認できます。また、設定を変更したり、取り消したりできます。

■設定を確認する

[詳細設定]で設定した内容を、確認できます。

1. [設定確認]を押す

2. 設定内容を確認し、[閉じる]を押す

(例:エッジ機能を設定してADFからコピーするとき)

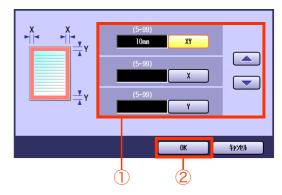
■設定を変更する

[詳細設定]で設定した内容を、変更できます。

1. 変更する設定を押す

- [片面→片面]からの変更はできません。

2. 設定を変更して[OK]を押す

例:[エッジ]の設定を変更する場合

3. [閉じる]を押す

■すべての設定を取り消す

設定をすべて取り消して、初期値の状態に戻すことができます。

1. [全消去]を押す

（例：エッジ機能を設定してコピーするとき）

設定がすべて取り消され、初期値の状態に戻ります。

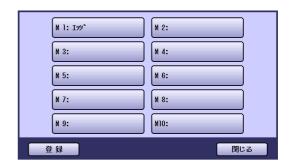
2. 設定の取り消しが終了したら、[閉じる]を押す

■設定をジョブメモリーに登録する

設定した内容をジョブメモリーとして登録することができます。

1. [ジョブメモリー]を押す

（例：エッジ機能を設定してコピーするとき）

2. 設定をジョブメモリーとして登録する

- ジョブメモリーを登録する操作については、「よく使用するコピー機能を登録する[ジョブメモリー]」(p.48)の手順５～７を参照してください。

3. ジョブメモリーの登録が終了したら、[閉じる]を押す

よく使用するコピー機能を登録する [ジョブメモリー]

■ジョブメモリーに登録する

画質や仕上げの設定など、よく使う設定をジョブメモリーとして登録できます。

お知らせ

- ●ジョブメモリーを呼び出す操作については、「ジョブメモリーを呼び出す」(p.49)を参照してください。
- ●一度登録したジョブメモリーは、新しい設定を上書きするまで削除されません。
- ●試しコピーは、ジョブメモリーに登録できません。
- ●伝票モードが設定されているときは、ジョブメモリーを[M1]と[M2]に登録することはできません。伝票モードについて、詳しくは、「設定された範囲だけをコピーする [伝票モード]」(p.121)を参照してください。

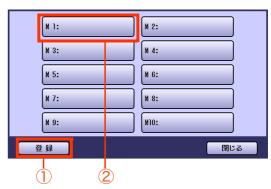
1. **原稿をセットする**

- 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

2. **他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す**

3. **登録したいコピー機能を設定する**

4. **[ジョブメモリー]を押す**

5. **[登録]を押して、名称が表示されていないジョブメモリーのボタンを押す**

- 設定が登録されているジョブメモリーボタンには、名称が表示されています。

6. **ジョブメモリー名を入力し[OK]を押す**

- 全角 10 文字以内で入力してください。
- キーボードの使いかたについて、詳しくは「文字入力のしかた」(p.130)を参照してください。

手順 5 の画面に戻ります。

7. **手順 5 の画面で、[閉じる]を押す**

■ジョブメモリーを呼び出す

登録されているジョブメモリーを呼び出してコピーできます。

お知らせ

●ジョブメモリーを登録する操作については、「ジョブメモリーに登録する」(p.48)を参照してください。

1. 原稿をセットする

● 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. ［ジョブメモリー］を押す

4. 呼び出したいジョブメモリーのボタンを押す

● 設定が登録されているジョブメモリーボタンには、名称が表示されます。

ジョブメモリーの呼び出しを確認する画面が表示されます。

5. ［閉じる］を押す

ジョブメモリーの設定が反映されます。

● ［設定確認］を押すと、ジョブの内容の確認や変更ができます。操作については、「設定したコピー機能を確認する［設定確認］」(p.46)を参照してください。

6. コピー部数を入力する

7. <スタート>を押す

● 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1分）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

コピー、プリント中のジョブを表示する [ジョブリスト]

本機が原稿を読み取り、コピーした用紙を排出するまでの一連の動作をジョブと呼びます。
実行中、または待機中のすべてのジョブ、またはコピーのジョブを一覧表示できます。
また、待機中のジョブを削除することもできます。

■一覧表示させる

コピーのジョブを一覧表示できます。

1. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

2. [ジョブリスト]を押す

❑ コピー/ プリント中以外のとき

❑ コピー/ プリント中のとき

実行中、または待機中のすべてのジョブが一覧表示されます。

3. [コピージョブ]を押す

実行中、または待機中のジョブのうち、コピーのジョブが一覧表示されます。

4. [閉じる]を押す

■コピージョブを削除する

待機中のジョブを削除できます。

1. **他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す**

2. **[ジョブリスト]を押す**

実行中、または待機中のすべてのジョブが一覧表示されます。

3. **[コピージョブ]を押す**

4. **削除するジョブを選択し、[削除]を押す**

- すべてのジョブを削除するときは、[全て選択]を押して、[削除]を押します。

ジョブの削除を確認する画面が表示されます。

5. **[はい]を押す**

選択したジョブが削除されます。

- 印刷中のジョブは、[削除]を押すタイミングによって、削除されないことがあります。

6. **[閉じる]を押す**

コピーの終了をコンピューターに通知する [終了通知]

コピーの終了をコンピューターに通知する設定をしてコピーできます。

お知らせ

- この機能を使用するためには、通知先のコンピューターにコミュニケーションユーティリティーとジョブステータスユーティリティーがインストールされている必要があります。
- コミュニケーションユーティリティーとジョブステータスユーティリティーは、「Panasonic Document Management System」CD からインストールできます。詳しくは、『取扱説明書(セットアップ ユーザー編)』の「2 章 ネットワーク環境へのインストール」の「スキャンで利用する(コミュニケーションユーティリティー)」、および「5 章 コンピューターの設定」を参照してください。

1. 原稿をセットする

- 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. 必要に応じて画質の設定をする

4. [終了通知] を押す

5. 検索タブ([あ]~[お好み])を選択して、通知先のコンピューターを表示する

6. 通知先のコンピューターを選択し、[OK] を押す

- 上記の画面にコンピューター名を表示するためには、通知先のコンピューターのコミュニケーションユーティリティーで、コンピューター名を本機に登録して、タスクバーにコミュニケーションユーティリティーのアイコンを表示する必要があります。
  詳しくは、『取扱説明書(セットアップ ユーザー編)』の「2 章 ネットワーク環境へのインストール」の「スキャンで利用する(コミュニケーションユーティリティー)」を参照してください。

7. コピー部数を入力する

8. <スタート>を押す

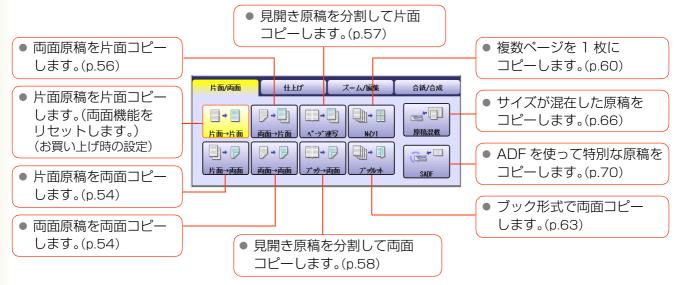
コピーが終了したら、設定したコンピューターにコピーが終了したことが通知されます。

- 本機からの終了通知を受信するためには、通知先のコンピューターのタスクバーにジョブステータスユーティリティーのアイコンが表示されている必要があります。
  詳しくは、『取扱説明書(セットアップ ユーザー編)』の「5 章 コンピューターの設定」の「ジョブステータスユーティリティーの設定)」を参照してください。

3章
詳細設定画面で機能を設定してコピーする

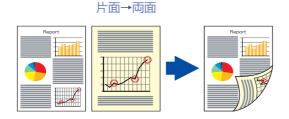
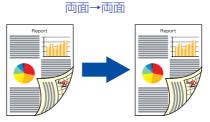
この章では、詳細設定を使ったコピーの操作について説明しています。

両面コピーモードを切り替える [片面 / 両面]

詳細設定画面の[片面 / 両面]タブでは、次の設定ができます。

お知らせ

- [片面 / 両面]タブは、初期値を変更できます。変更する操作については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「3 章　コピー機能設定」を参照してください。
- 両面コピーができる用紙は、普通紙、上質紙、再生紙(64 ～ 105 g/m^2)だけです。
- A5 サイズの用紙へ両面コピーする場合は、用紙を横向( )にセットしてください。

■片面 / 両面原稿を両面にコピーする [片面→両面] / [両面→両面]

片面原稿、または両面原稿を用紙の両面にコピーします。

片面→両面

両面→両面

- この機能は、原稿をADFにセットしたときに使用できます。

1. 原稿をセットする

- 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. [詳細設定]を押す

4. 片面原稿を両面コピーするときは［片面→両面］を、両面原稿を両面コピーするときは［両面→両面］を押す

- ［両面→両面］は、原稿を ADF にセットしたときだけ設定できます。

5. 原稿の向きを選択する

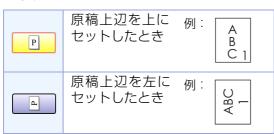
❑ ［片面→両面］を選択したとき

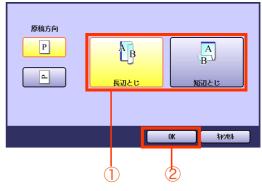
画面例：原稿を縦向き（ ）にセットしたとき

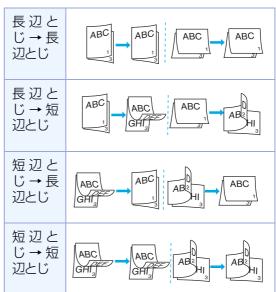
❑ ［両面→両面］を選択したとき

画面例：原稿を縦向き（ ）にセットしたとき

- 原稿上辺の方向に応じてボタンを選択します。

P	原稿上辺を上にセットしたとき	例：ABC 1
P	原稿上辺を左にセットしたとき	例：ABC 1

6. とじ位置を選択して［OK］を押す

❑ ［片面→両面］を選択したとき

長辺とじ	長辺をとじるとき
短辺とじ	短辺をとじるとき

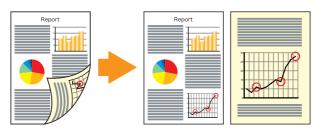
❑ ［両面→両面］を選択したとき

長辺とじ→長辺とじ	
長辺とじ→短辺とじ	
短辺とじ→長辺とじ	
短辺とじ→短辺とじ	

7. コピー部数を入力する

8. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

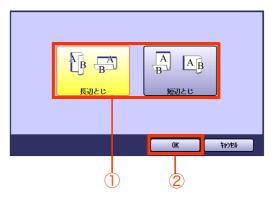
■両面原稿を片面にコピーする [両面→片面]

両面原稿を用紙の片面にコピーします。

お知らせ

- この機能は、原稿を ADF にセットしたときに使用できます。

1. [両面→片面] を押す

- この画面を表示する操作は、「片面 / 両面原稿を両面にコピーする [片面→両面] / [両面→両面]」(p.54)の手順 1 〜3を参照してください。

2. とじ位置を選択して [OK] を押す

長辺とじ	長辺をとじるとき
短辺とじ	短辺をとじるとき

- このあとの操作については、「片面/両面原稿を両面にコピーする [片面→両面] / [両面→両面]」(p.54)の手順7〜8を参照してください。

■見開きの原稿を片面に分割する ［ページ連写］

見開きの原稿を片面ずつ分割してコピーします。

お知らせ

- この機能は、原稿を横向き（ ）にセットしたときに使用できます。

1. ［ページ連写］を押す

- この画面を表示する操作は、「片面 / 両面原稿を両面にコピーする ［片面→両面］/［両面→両面］」（p.54）の手順1～3を参照してください。

2. 「連写方向」を選択する

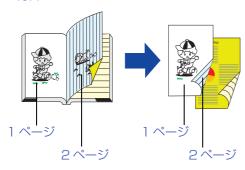
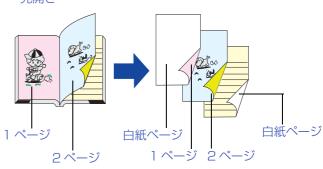
1→2	見開き原稿を開いた状態で左側から先にコピーするとき
2←1	見開き原稿を開いた状態で右側から先にコピーするとき

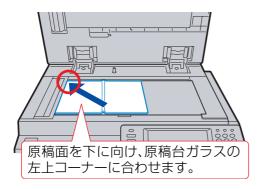
3. 「先頭/最終ページ指定」で、最初と最後のページをコピーするかしないかを選択し、［OK］を押す

	最初と最後のページもコピーするとき
	最初のページをコピーして、最後のページはコピーしないとき
	最初のページはコピーせず、最後のページはコピーするとき
	最初と最後のページをコピーしないとき

- このあとの操作については、「片面/両面原稿を両面にコピーする ［片面→両面］/［両面→両面］」（p.54）の手順7～8を参照してください。

■ブック原稿を両面にコピーする [ブック→両面]

見開きの原稿を片面ずつ分割して両面コピーします。

1 ページ目と 2 ページ目が用紙の両面にコピーされます。

最初と最後のページに白紙ページを挿入し、原稿と同じ見開きの状態で両面コピーされます。

1. 原稿台ガラスに原稿をセットする

● 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

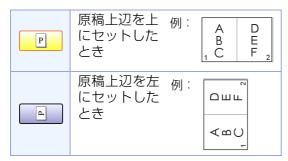
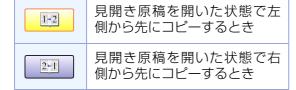
2. [ブック→両面]を押す

● この画面を表示する操作は、「片面 / 両面原稿を両面にコピーする [片面→両面]/[両面→両面]」(p.54)の手順 2 ～ 3 を参照してください。

3. 背合わせで印刷するか、見開きで印刷するかを選択する

背合わせ	見開きの左右のページを両面にコピーするとき(とじると、見開きの状態は、原稿とは異なります)
見開き	最初と最後のページに白紙ページを挿入して両面コピーするとき(とじると、見開きの状態は、原稿と同じようになります)

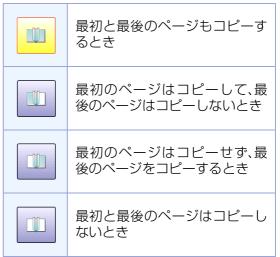
4. 原稿の向きを選択する

- 原稿上辺の方向に応じてボタンを選択します。

ボタン	説明	例
P	原稿上辺を上にセットしたとき	例：ABC DEF
P（横向き）	原稿上辺を左にセットしたとき	例：ABC DEF（横向き）

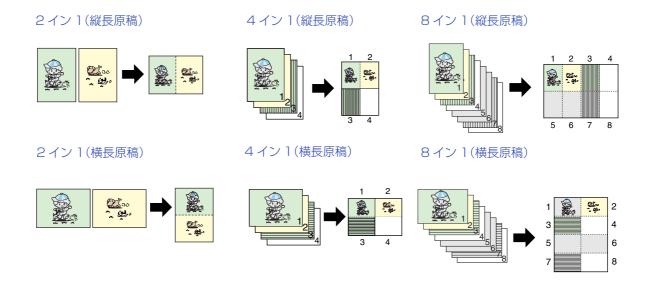
5. 「連写方向」を選択する

ボタン	説明
1→2	見開き原稿を開いた状態で左側から先にコピーするとき
2←1	見開き原稿を開いた状態で右側から先にコピーするとき

6. 「先頭/最終ページ指定」で、最初と最後のページをコピーするかしないかを選択し、[OK] を押す

ボタン	説明
（ボタン1）	最初と最後のページもコピーするとき
（ボタン2）	最初のページはコピーして、最後のページはコピーしないとき
（ボタン3）	最初のページはコピーせず、最後のページをコピーするとき
（ボタン4）	最初と最後のページはコピーしないとき

- このあとの操作については、「片面 / 両面原稿を両面にコピーする ［片面→両面］/［両面→両面］」(p.54)の手順 7 ～ 8 を参照してください。

■複数ページを 1 枚にまとめる [N イン 1]

複数ページの原稿を 1 枚の用紙にまとめてコピーできます。用紙の両面にまとめてコピーすることもできます。

1. [N イン 1]を押す

- この画面を表示する操作については、「片面/両面原稿を両面にコピーする［片面→両面］/［両面→両面］」(p.54)の手順 1 〜 3 を参照してください。

2. 1 ページにまとめてコピーする原稿枚数を選択する

画面例：原稿を縦向き（ ）にセットしたとき

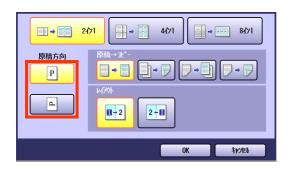
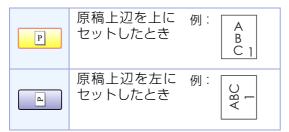
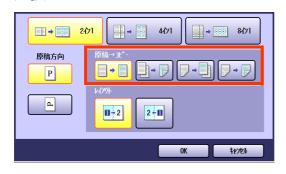
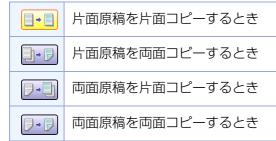
[2 イン 1]	2 ページの原稿を 1 枚にまとめたいとき
[4 イン 1]	4 ページの原稿を 1 枚にまとめたいとき
[8 イン 1]	8 ページの原稿を 1 枚にまとめたいとき

3. 原稿の向きを選択する

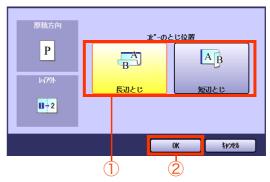
● 原稿上辺の方向に応じてボタンを選択します。

	原稿上辺を上にセットしたとき	例：ABC 1
	原稿上辺を左にセットしたとき	例：ABC 1

4. 「原稿→コピー」で両面コピーモードを選択する

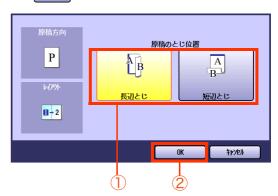
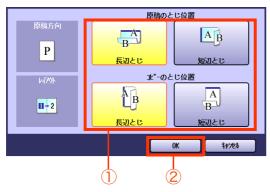
	片面原稿を片面コピーするとき
	片面原稿を両面コピーするとき
	両面原稿を片面コピーするとき
	両面原稿を両面コピーするとき

5. 「原稿→コピー」で 以外を選択した場合、コピーや原稿のとじ位置を選択して[OK]を押す

❑ を選択したとき

画面例: [2 イン 1]を選択したとき

長辺とじ	用紙の長辺をとじるとき
短辺とじ	用紙の短辺をとじるとき

❑ を選択したとき

長辺とじ	長辺とじの原稿のとき
短辺とじ	短辺とじの原稿のとき

＜次ページへ続く＞

❑ を選択したとき

原稿のとじ位置

長辺とじ	長辺とじの原稿のとき
短辺とじ	短辺とじの原稿のとき

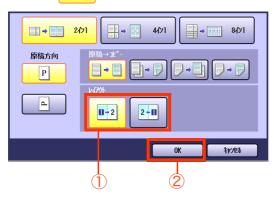
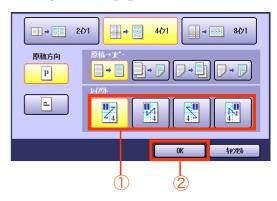
コピーのとじ位置

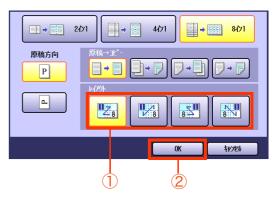
長辺とじ	用紙の長辺をとじるとき
短辺とじ	用紙の短辺をとじるとき

- [2 イン 1]、または[8 イン 1]を選択した場合は、原稿の向きとコピーの向きが異なります。

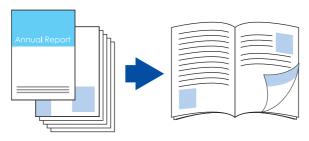
6. **「レイアウト」で原稿の配置順を選択し、[OK]を押す**

❑ 2 イン 1 のとき

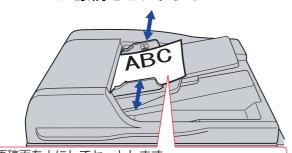
画面例： を選択したとき

❑ 4 イン 1 のとき

❑ 8 イン 1 のとき

- このあとの操作については、「片面 / 両面原稿を両面にコピーする［片面→両面］/［両面→両面］」(p.54)の手順 7 ～ 8 を参照してください。

■ブック形式で両面にコピーする ［ブックレット］

複数ページの原稿を本のように両面コピーします。表紙をつけて、表紙だけ別の用紙を使ってコピーすることもできます。

お知らせ

- この機能は、A5、B5、または A4 の原稿を ADF にセットしたときに設定できます。
- 1 ビンサドルフィニッシャー（DA-FS405W）を装着しているときは、中とじ製本ができます。ただし、A5 の用紙は使用できません。
- コピーサイズの初期値は等倍ですが、縮小に変更することができます。操作については、『取扱説明書（ファンクション設定編）』の「3 章　コピー機能設定」を参照してください。
- 中とじの位置がずれ、位置を補正したいときは、『取扱説明書（ファンクション設定編）』の「2 章 共通機能設定」を参照してください。
- ページ番号をつけてコピーできます。「スタンプを印字する ［スタンプ印字］」（p.89）を参照してください。

1. ADF に原稿をセットする

原稿面を上にしてセットします。
1 ビンサドルフィニッシャーが装着されていないときは、普通紙（A4）で 100 枚までセットできます。

1 ビンサドルフィニッシャーが装着されている場合、中とじをするために、ADF にセットできる普通紙（A4）の枚数は、次のとおりです。

片面原稿で 表紙を設定しないとき	60 枚
片面原稿で 表紙を［無地］に設定するとき	56 枚
両面原稿で 表紙を設定しないとき	30 枚
両面原稿で 表紙を［無地］に設定するとき	28 枚

上記の枚数を超えた場合は、中とじせずにコピーされます。

- 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」（p.10）を参照してください。

2. ［ブックレット］を押す

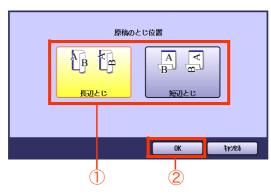
- この画面を表示する操作については、「片面/両面原稿を両面にコピーする ［片面→両面］/［両面→両面］」（p.54）の手順2～3を参照してください。

＜次ページへ続く＞

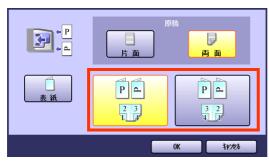
3. 両面原稿のときは、次の操作をする

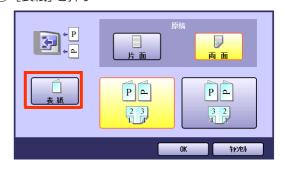
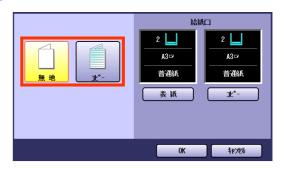
① [両面] を押す

片面	片面原稿のとき
両面	両面原稿のとき

② 原稿のとじ位置を選択し、[OK] を押す

長辺とじ	長辺とじの原稿のとき
短辺とじ	短辺とじの原稿のとき

4. コピーのとじ位置を選択する

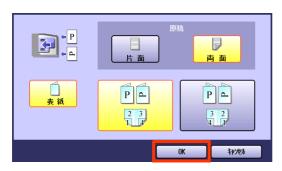
	用紙の左側、または上側をとじるとき
	用紙の右側、または下側をとじるとき

5. 表紙をつけるときは、次の操作をする

① [表紙] を押す

② 表紙にコピーするかどうかを選択する

無地	表紙にはコピーしないとき
コピー	表紙にコピーするとき

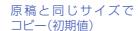
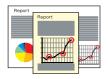
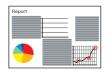
③ 表紙に使用する用紙がセットされているカセットを、[表紙] を押して選択する

- [表紙] を押すごとに、同じサイズがセットされた用紙のカセットが切り替わります。
- 表紙以外の用紙も変更するときは、[コピー] を押して用紙のカセットを設定します。

④ [OK] を押す

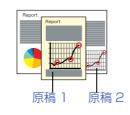
6. ［OK］を押す

- このあとの操作については、「片面 / 両面原稿を両面にコピーする ［片面→両面］/［両面→両面］」(p.54)の手順 7 ～ 8 を参照してください。

■サイズが異なる 2 種類の原稿を一度にコピーする［原稿混載］

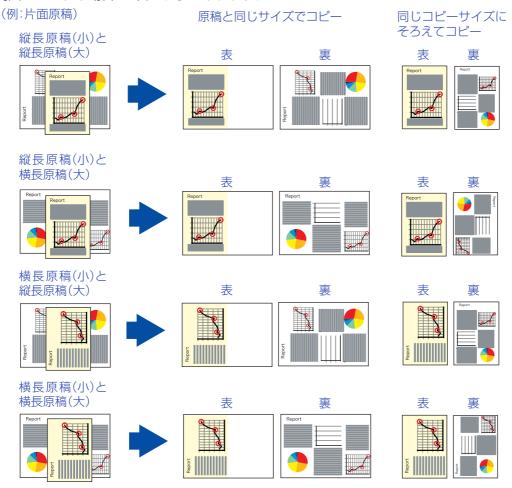
サイズが異なる複数の原稿をまとめて読み取り、それぞれの原稿サイズに応じた用紙にコピーしたり、同じコピーサイズにそろえてコピーしたりできます。

同じコピーサイズに
そろえてコピー

お知らせ

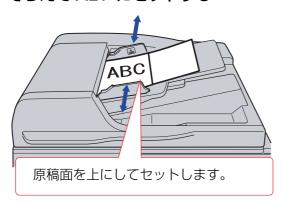
●混在できる原稿サイズの組み合わせは、次のとおりです。

原稿 1	原稿 2
B5	B4
A5	A4
A4	A3

●コピーサイズを指定しなかったときは、それぞれの原稿サイズどおりにコピーされます。コピーサイズを指定すると、コピーサイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小してコピーされます。

●コピーサイズを指定して A4、B5、または A5 に統一するときだけ、[回転ソート]、または [回転スタック] を設定して、部 / ページ単位で回転して排出できます。

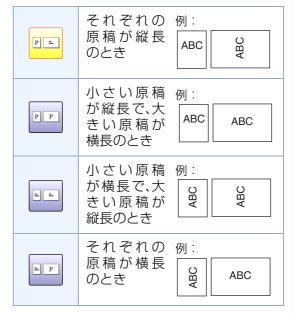
●両面コピーする場合は、次のようになります。

■ 原稿と同じサイズでコピーする

サイズが異なる原稿をまとめて読み取り、それぞれの原稿サイズに応じた用紙にコピーします。

1. サイズが異なる原稿を、幅が同じ辺をそろえて ADF にセットする

● 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

2. ［原稿混載］を押す

● この画面を表示する操作については、「片面/両面原稿を両面にコピーする［片面→両面］/［両面→両面］」(p.54)の手順2～3を参照してください。

3. 原稿の向きを選択する

	それぞれの原稿が縦長のとき	例：ABC ABC
	小さい原稿が縦長で、大きい原稿が横長のとき	例：ABC ABC
	小さい原稿が横長で、大きい原稿が縦長のとき	例：ABC ABC
	それぞれの原稿が横長のとき	例：ABC ABC

4. 「原稿→コピー」で両面コピーモードを選択する

	片面原稿を片面コピーするとき
	片面原稿を両面コピーするとき
	両面原稿を片面コピーするとき
	両面原稿を両面コピーするとき

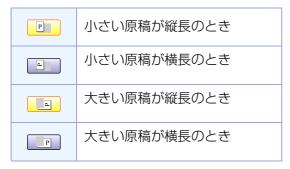
＜次ページへ続く＞

5. 以外を選択した場合、それぞれの原稿の向きと、原稿やコピーのとじ位置を選択する

① それぞれの原稿の向きを選択する

画面例:「原稿方向」で を、「原稿→コピー」で を選択したとき

原稿の向き

	小さい原稿が縦長のとき
	小さい原稿が横長のとき
	大きい原稿が縦長のとき
	大きい原稿が横長のとき

② 小さい原稿のコピーや原稿のとじ位置を選択する

❑ を選択したとき

長辺とじ	用紙の長辺をとじるとき
短辺とじ	用紙の短辺をとじるとき

❑ を選択したとき

長辺とじ	長辺とじの原稿のとき
短辺とじ	短辺とじの原稿のとき

❑ を選択したとき

長辺とじ	長辺とじの原稿のとき
短辺とじ	短辺とじの原稿のとき

● コピーのとじ位置を変更する場合は、[変更]を押して、とじ位置を変更してください。

③ 大きい原稿のコピーや原稿のとじ位置を選択する

❑ を選択したとき

長辺とじ	用紙の長辺をとじるとき
短辺とじ	用紙の短辺をとじるとき

❑ を選択したとき

長辺とじ	長辺とじの原稿のとき
短辺とじ	短辺とじの原稿のとき

❑ を選択したとき

長辺とじ	長辺とじの原稿のとき
短辺とじ	短辺とじの原稿のとき

- コピーのとじ位置を変更する場合は、[変更]を押して、とじ位置を変更してください。

6. **[OK]を選択する**

- このあとの操作については、「片面 / 両面原稿を両面にコピーする ［片面→両面］/［両面→両面］」(p.54)の手順 7 ～ 8 を参照してください。

■ 用紙サイズをそろえてコピーする

サイズが異なる原稿をまとめて読み取り、指定したコピーサイズにそろえてコピーします。
コピーサイズに合わせて自動的に拡大/縮小されます。

1. **「原稿と同じサイズでコピーする」(p.67)の手順 1 ～6の操作をする**

2. **[基本]を押して、コピーサイズを選択する**

- このあとの操作については、「片面 / 両面原稿を両面にコピーする ［片面→両面］/［両面→両面］」(p.54)の手順 7 ～ 8 を参照してください。

■ADF を使って特別な原稿をコピーする [SADF]

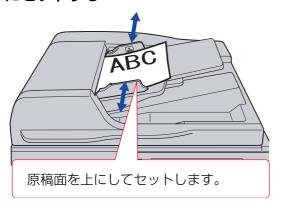
重ねて給紙しにくい薄い原稿(最小 50g/m^2)を ADF を使ってコピーすることができます。
また、SADF 機能の応用例として、100 枚を超える原稿を同じ設定で続けてコピーできます。(p.71)

お知らせ

- この機能は、ADF に原稿をセットしたときに設定できます。

■ 薄い原稿をコピーするとき

重ねて給紙しにくい薄い原稿(最小 50g/m^2)のときは、5 秒以内に 1 枚ずつ ADF にセットすると、同じ設定で続けてコピーすることができます。

1. **1 枚目の原稿(最小 50g/m^2)を ADF にセットする**

- 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

2. **[SADF] を押す**

- この画面を表示する操作については、「片面 / 両面原稿を両面にコピーする [片面→両面] / [両面→両面]」(p.54)の手順 2 〜 3 を参照してください。

3. **必要に応じて、その他のコピー機能を設定する**

4. **コピー部数を入力する**

5. **<スタート>を押す**

6. **最初の原稿の読み取りが終わり、ADF のトレイに排出されたら、次の原稿を 5 秒以内にセットする**

原稿が読み取られます。

7. **最後の原稿を読み取るまで手順 6 を繰り返します。**

最後の原稿が読み取りが終了して、5 秒経過すると、次の画面が表示されます。

8. **[いいえ] を押す**

- 設定したコピー機能は、一定時間後(お買い上げ時の設定:1 分)に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■ SADF 機能の応用例 A4(80g/m²) 100 枚を超える原稿のとき

ADF に一度にセットできる原稿は 100 枚までです。100 枚を超える原稿の場合、次の方法で、ひとつながりの原稿としてコピーできます。

お知らせ

- ひとつながりの原稿として、読み取ることができる原稿は、合計で 999 枚までです。
- 原稿（カラー写真など）によっては、999 枚以下でもメモリーオーバーエラーが表示されることがあります。そのときは、タッチパネルの表示にしたがって操作してください。

例：130 枚の原稿を 5 部コピーする

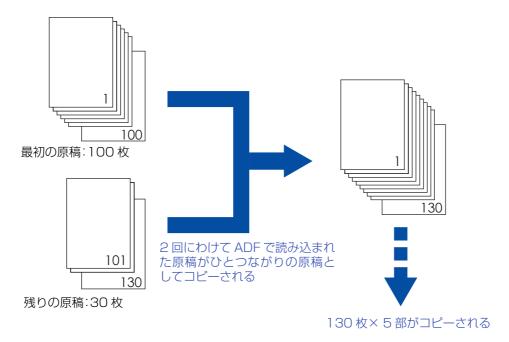
(a) 最初の 100 枚を ADF にセットする

(b) [SADF] を押す

(c) [仕上げ] を選択して、ソートの設定をする（p.73）

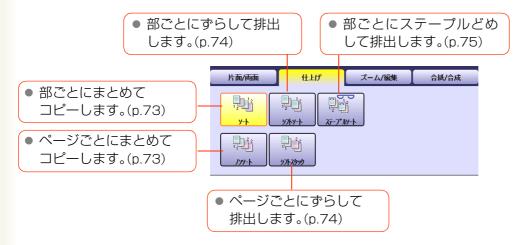
(d) 部数（5 部）をセットし、**<スタート>** を押す

(e) 100 枚の読み取りが終わったら、5 秒以内に残りの 30 枚を ADF にセットする

(f) 残りの 30 枚の読み取りが終わったら、最終原稿確認画面で [いいえ] を押す

排紙のしかたを切り替える [仕上げ]

詳細設定画面の[仕上げ]タブでは、次の設定ができます。

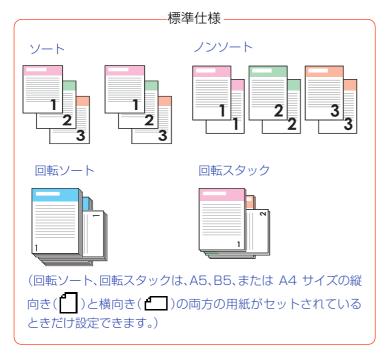
❑ 標準仕様のとき

❑ 1ビンフィニッシャー(DA-FS402W)、または1ビンサドルフィニッシャー(DA-FS405W)が装着されているとき

❑ 1 ビンサドルフィニッシャー(DA-FS405W)とパンチユニット(DA-SP41)が装着されているとき

お知らせ

● [仕上げ]タブは、初期値を変更できます。変更する操作については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「3 章 コピー機能設定」を参照してください。

■ソート機能を設定する　[ソート]/[ノンソート]/[回転ソート]/[回転スタック]/[シフトソート]/[シフトスタック]

部ごとにまとめたり、ページごとにまとめたりして排出できます。

(回転ソート、回転スタックは、A5、B5、または A4 サイズの縦向き(　)と横向き(　)の両方の用紙がセットされているときだけ設定できます。)

1. 原稿をセットする

- 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. [詳細設定]を押す

4. [仕上げ]を押して、ソートの種類を選択する

❑ **標準仕様時**

ソート	部ごとにまとめたいとき
ノンソート	ページごとにまとめたいとき
回転ソート	部ごとに回転したいとき
回転スタック	ページごとに回転したいとき

- [回転ソート]と[回転スタック]は、A5、B5、または A4 サイズの縦向き(　)と横向き(　)の両方の用紙がセットされているときだけ設定できます。

<次ページへ続く>

❑ 1 ビンフィニッシャー(DA-FS402W)/ 1 ビンサドルフィニッシャー(DA-FS405W)装着時

画面例:1 ビンサドルフィニッシャー(DA-FS405W)とパンチユニット(DA-SP41)を装着時

ソート	部ごとにまとめたいとき
ノンソート	ページごとにまとめたいとき
シフトソート	部ごとに位置をずらしたいとき
シフトスタック	ページごとに位置をずらしたいとき

5. **コピー部数を入力する**

6. **<スタート>を押す**

- 設定したコピー機能は、一定時間後(お買い上げ時の設定:1 分)に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■ステープルする [ステープルソート]

1 ビンフィニッシャー(DA-FS402W)/1 ビンサドルフィニッシャー(DA-FS405W)が装着されているときは、ステープルどめを設定できます。
また、1 ビンサドルフィニッシャー(DA-FS405W)が装着されているときは、中とじを設定できます。

ステープルソート

● 1 ビンフィニッシャー(DA-FS402W)装着時
・左上 1 か所 ・右上 1 か所
※一度にステープルどめできる枚数
30 枚:A4/B5、20 枚:A3/B4

● 1 ビンサドルフィニッシャー(DA-FS405W)装着時
・左側 2 か所 ・右側 2 か所 ・左上 1 か所
・右上 1 か所 ・上 2 か所
※一度にステープルどめできる枚数
2 ～ 50 枚:A4/B5、2 ～ 25 枚:A3/B4

中とじ

● 1 ビンサドルフィニッシャー(DA-FS405W)装着時([ブックレット]設定時)
※一度にステープルどめできる枚数
15 枚:A3/B4/A4
※ブックレット指定できる原稿の最大枚数
60 枚:A4/B5/A5

● 中とじでステープルされたコピーは、サドルトレイに排出されます。(p.77)

■ ステープルを設定する

ステープルどめを設定できます。

1. **原稿をセットする**

- 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。
- フィニッシャーの種類によって、ステープルできる原稿枚数の制限が異なります。詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「主な仕様」を参照してください。
ステープル可能最大枚数を超えて設定したときは、ステープルされず、シフトソートされて排出されます。

2. **他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す**

3. **[詳細設定]を押す**

4. **[仕上げ]を押して、[ステープルソート]を押す**

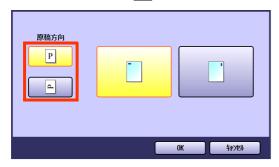
例:1 ビンサドルフィニッシャー(DA-FS405W)とパンチユニット(DA-SP41)装着時

- [パンチ]は、1 ビンサドルフィニッシャー(DA-FS405W)とパンチユニット(DA-SP41)を装着しているときだけ表示されます。

<次ページへ続く>

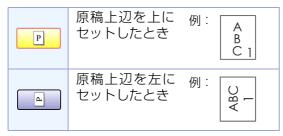
5. 原稿の向きを選択する

❑ 1 ビンフィニッシャー(DA-FS402W)装着時

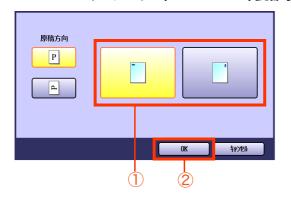
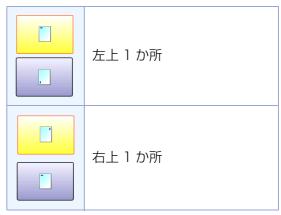
画面例:原稿を縦向き( )にセットしたとき

❑ 1 ビンサドルフィニッシャー (DA-FS405W)装着時

画面例:パンチユニット(DA-SP41)装着時、原稿を縦向き( )にセットしたとき

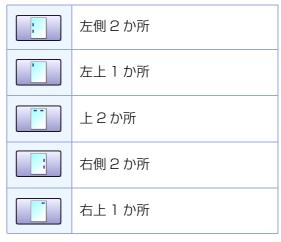
- [パンチ]は、1 ビンサドルフィニッシャー(DA-FS405W)とパンチユニット(DA-SP41)を装着しているときだけ表示されます。
- 原稿上辺の方向に応じてボタンを選択します。

P	原稿上辺を上にセットしたとき	例:ABC 1
P	原稿上辺を左にセットしたとき	例:ABC 1

6. ステープル位置を選択し、[OK]を押す

❑ 1 ビンフィニッシャー(DA-FS402W)装着時

	左上 1 か所
	右上 1 か所

❑ 1 ビンサドルフィニッシャー (DA-FS405W)装着時

原稿上辺を上にセットしたとき

	左側 2 か所
	左上 1 か所
	上 2 か所
	右側 2 か所
	右上 1 か所

- A3、B4 サイズをコピーするときは、左側 2 か所と右側 2 か所を選択できません。
- パンチユニット(DA-SP41)を装着しているときは、同時にパンチ穴をあける設定もできます。操作については、「パンチ穴をあける [パンチ]」(p.78)を参照してください。

7. コピー部数を入力する

8. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後(お買い上げ時の設定:1 分)に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■ 中とじを設定する

1 ビンサドルフィニッシャー(DA-FS405W)を装着しているときに、[ブックレット]を設定すると、中とじを設定できます。
- 中とじで一度にステープルどめできる枚数は 15 枚までです。

1. 原稿をセットする

- 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

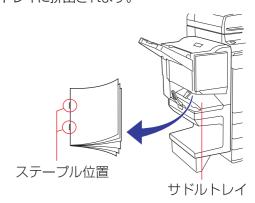
3. [詳細設定] を押す

4. [ブックレット]を押す

- [ブックレット]の設定方法については、「ブック形式で両面にコピーする [ブックレット]」(p.63)の手順 3 ～ 5 を参照してください。

5. コピー部数を入力する

6. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後(お買い上げ時の設定:1 分)に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。
- 中とじの位置がずれ、位置を補正したいときは、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「2 章 共通機能設定」を参照してください。
- 中とじでステープルされたコピーは、下図のように1ビンサドルフィニッシャーのサドルトレイに排出されます。

■パンチ穴をあける [パンチ]

1 ビンサドルフィニッシャー(DA-FS405W)とパンチユニット(DA-SP41)が装着されているときは、パンチ穴をあける設定ができます。

● 1 ビンサドルフィニッシャー(DA-FS405W)と
パンチユニット(DA-SP41)装着時
・右側 2 か所
・上 2 か所
・左側 2 か所

1. **原稿をセットする**

● 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

2. **他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す**

3. **[詳細設定]を押す**

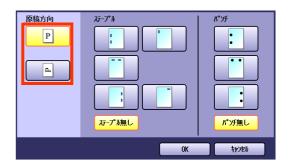
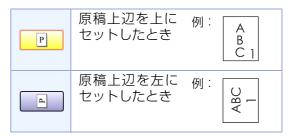
4. **[仕上げ]を押して、[パンチ]を押す**

① ②

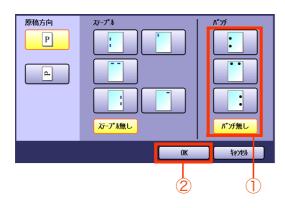
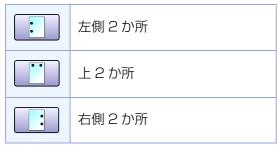
5. **原稿の向きを選択する**

画面例:原稿を縦向き( )にセットしたとき

● 原稿上辺の方向に応じてボタンを選択します。

ボタン	説明	例
P	原稿上辺を上にセットしたとき	例： ABC 1
P	原稿上辺を左にセットしたとき	例： ABC 1

6. パンチ位置を選択し、[OK]を押す

原稿上辺を上にセットしたとき

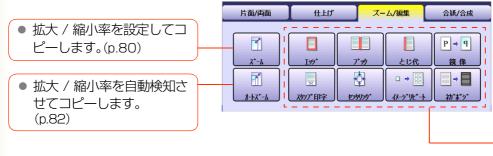
	左側 2 か所
	上 2 か所
	右側 2 か所

- この画面で、同時にステープルの設定もできます。操作については、「ステープルする[ステープルソート]」(p.75)を参照してください。
- ステープル位置を設定したあとに、パンチ位置を設定すると、ステープル位置もパンチ位置と同じ位置の 2 か所どめに変更されます。

7. コピー部数を入力する

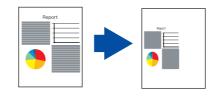
8. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後(お買い上げ時の設定: 1 分)に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

任意の倍率でコピーする [ズーム / 編集]

詳細設定モードの[ズーム / 編集]タブでは、次のズームの設定ができます。

「編集機能を使う [ズーム / 編集]」(p.84)で、説明しています。

■コピー倍率を設定する [ズーム]

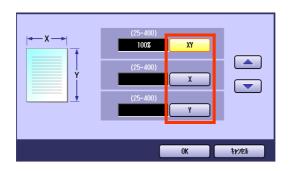
拡大 / 縮小率を設定してコピーできます。縦と横の倍率を変えて設定することもできます。

1. **原稿をセットする**

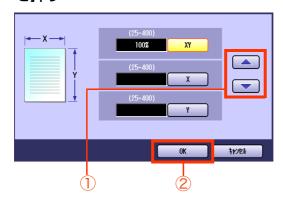
● 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

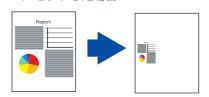
2. **他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す**

3. **[詳細設定]を押す**

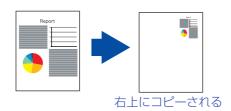
4. **[ズーム/編集]を押して、[ズーム]を押す**

5. 拡大/縮小率を設定する項目を選択する

XY	縦横同じ倍率で拡大 / 縮小率を設定するとき
X	横の拡大 / 縮小率を設定するとき
Y	縦の拡大 / 縮小率を設定するとき

6. [▲]、[▼]を使うか、またはテンキーを使って拡大 / 縮小率を入力し、[OK]を押す

- 25～400%の範囲で、1%刻みで設定できます。
- 原稿のセット方法により、コピー画像の位置が異なります。
例：25%に縮小した場合

ADF にセットした場合

左中央にコピーされる

原稿台ガラスにセットした場合

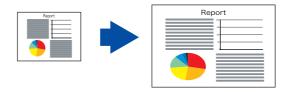
右上にコピーされる

- 用紙サイズを変更するときは、[基本]を押して[給紙口/排紙口]を押し、カセットを選択してください。操作について詳しくは、「用紙/コピー排出先を切り替える［給紙口 / 排紙口］」(p.42)を参照してください。

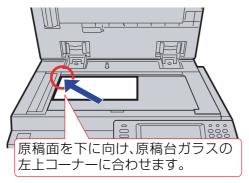
7. コピー部数を入力する

8. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■用紙のサイズに合わせてコピーする [オートズーム]

設定した用紙に合わせて拡大 / 縮小率を自動検知してコピーできます。用紙の縦と横の長さに合わせてコピーしたり、用紙の縦、または横の長さに合わせてコピーしたりできます。

- この機能は、原稿台ガラスに原稿をセットしたときだけ、設定できます。
- 原稿は横向き( )にセットすることをお勧めします。縦向き( )にセットすると、文字や画面が長細くコピーされたり、余白部分が大きくなったりすることがあります。
- 原稿台ガラス面が、周囲の光(蛍光灯など)の影響を受けると、原稿位置を誤って検知することがあります。
- 原稿の周囲の余白が 5 ㎜以下の場合、正しく原稿が検知されず、コピー画像がみだれることがあります。そのときは、スカイショットモードを「なし」にしてください。操作については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「3 章　コピー機能設定」を参照してください。

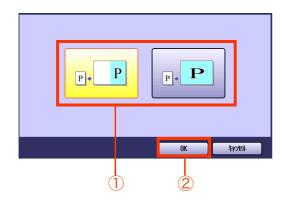
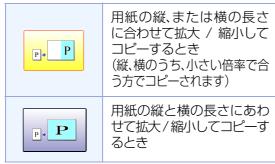
1. **原稿台ガラスに原稿を横向き( )にセットし、ADF を開けたままにする**

- ADF は 45 度以上開けてください。
- 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

2. **他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す**

3. **[詳細設定] を押す**

4. **[ズーム / 編集] を押して、[オートズーム] を押す**

5. 自動倍率の種類を選択し、[OK]を押す

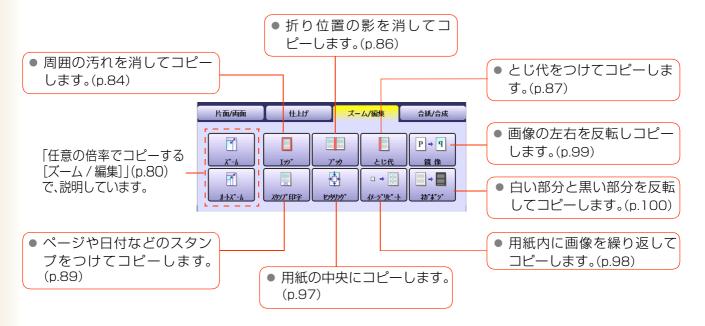
	用紙の縦、または横の長さに合わせて拡大 / 縮小してコピーするとき（縦、横のうち、小さい倍率で合う方でコピーされます）
	用紙の縦と横の長さにあわせて拡大/縮小してコピーするとき

6. 用紙を選択し、[OK]を押す

7. コピー部数を入力する

8. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

編集機能を使う [ズーム / 編集]

詳細設定モードの[ズーム / 編集]タブでは、次の編集の設定ができます。

■周囲の汚れを消す [エッジ]

用紙の上下、左右の消し幅(コピーしない部分)を設定してコピーできます。

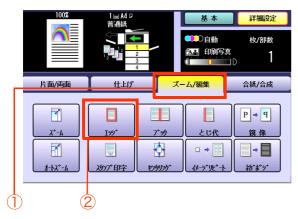
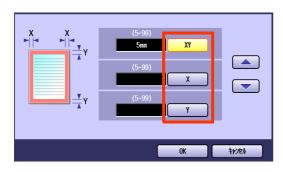
お知らせ

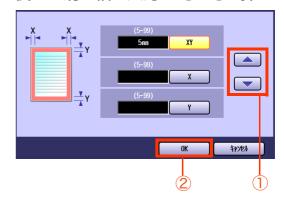
● [ズーム](p.80)を設定しているときは、ズーム率によって消し幅は変化します。

1. **原稿をセットする**
   - 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

2. **他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す**

3. **[詳細設定]を押す**

4. **[ズーム/編集]を押して、[エッジ]を押す**

5. **消し位置を選択する**

XY	用紙の上下、左右同じ消し幅を設定したいとき
X	用紙の左右の消し幅を設定したいとき
Y	用紙の上下の消し幅を設定したいとき

6. **[▲]、[▼]を使うか、またはテンキーを使って消し幅を入力し、[OK]を押す**

   - 5～99 mmの範囲で、1 mm刻みで設定できます。

7. **コピー部数を入力する**

8. **<スタート>を押す**
   - 設定したコピー機能は、一定時間後(お買い上げ時の設定：1 分)に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■折り位置の影を消す [ブック]

本などをコピーしたとき、中央の折り位置に黒い影ができることがあります。このようなときは、折り位置の影を消してコピーできます。

お知らせ

● [ズーム] (p.80) を設定しているときは、ズーム率によって消し幅は変化します。

● [フォーム合成] (p.111) を設定しているとき、合成原稿は、折り位置の影は消されません。

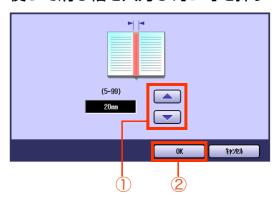
1. **原稿をセットする**

● 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10) を参照してください。

2. **他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す**

3. **[詳細設定] を押す**

4. **[ズーム/編集] を押して、[ブック] を押す**

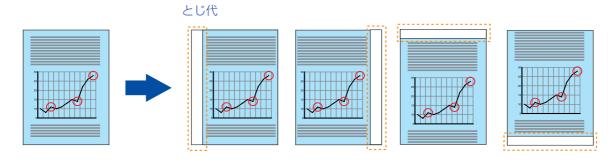
5. **[▲]、[▼] を押すか、またはテンキーを使って消し幅を入力し、[OK] を押す**

● 5 ～ 99 mmの範囲で、1 mm刻みで設定できます。

6. **コピー部数を入力する**

7. **<スタート>を押す**

● 設定したコピー機能は、一定時間後(お買い上げ時の設定:1 分)に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■とじ代をつける [とじ代]

用紙の上下左右に余白(とじ代)をつけてコピーできます。

お知らせ

- 用紙の端までイメージがあるような原稿をコピーする場合やとじ代の幅を大きくした場合に、端の部分がコピーされないときは、ファンクション設定モードで、[とじ代縮小]を[あり]に設定すると、とじ代幅に合わせて、イメージが用紙内に収まるサイズに縮小され、端が欠けずにコピーされます。操作については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「3 章　コピー機能設定」を参照してください。
- [合成](p.108)、または[フォーム合成](p.111)を設定しているときは、合成原稿にも、とじ代が設定されます。

1. **原稿をセットする**

- 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

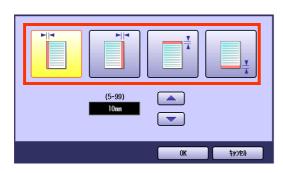
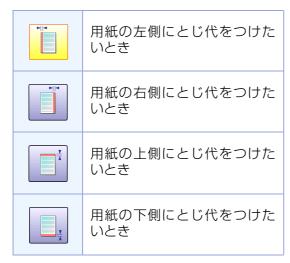
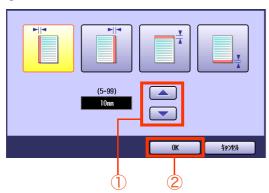
2. **他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す**

3. **[詳細設定]を押す**

4. **[ズーム/編集]を押して、[とじ代]を押す**

<次ページへ続く>

5. とじ代をつける位置を選択する

	用紙の左側にとじ代をつけたいとき
	用紙の右側にとじ代をつけたいとき
	用紙の上側にとじ代をつけたいとき
	用紙の下側にとじ代をつけたいとき

6. [▲]、[▼]を押すか、またはテンキーを使ってとじ代幅を入力し、[OK]を押す

- 5～99 mmの範囲で、1 mm刻みで設定できます。

7. コピー部数を入力する

8. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■スタンプを印字する [スタンプ印字]

ページ番号、管理番号、日付、文字をつけてコピーできます。

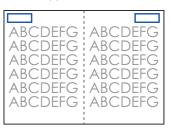
お知らせ

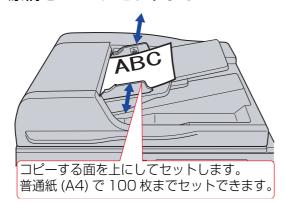
- この機能は、ADF に原稿をセットしたときに設定できます。
- 1回の読み取りでスタンプに選択できるのは、[ページ付け]、[管理ナンバー印字]、[日付印字]、[テキスト/ナンバー印字] の中から 1 つだけです。複数のスタンプを組み合わせてコピーすることはできません。
- 印字色は黒色だけです。
- 奇数枚の原稿を[片面→両面](p.54)で両面コピーしたときに白紙となる最終ページには、スタンプは印字されません。
- [合紙](p.104)で、合紙にはコピーしない設定のときは、合紙にはスタンプが印字されません。
- [OHP 合紙](p.106)の合紙には、スタンプは印字されません。
- スタンプは用紙の下部中央、右下、右上のいずれか 1 箇所に印字できます。
- [ブックレット](p.63)でコピーした場合、スタンプを印字する位置は次のようになります。

例: 原稿を縦向き( )にセットしたとき

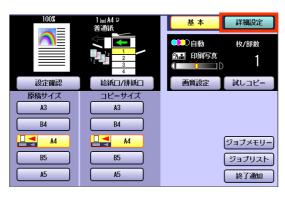
下部中央のとき

右下のとき

右上のとき

■ スタンプ印字の基本的な操作

1. 原稿を ADF にセットする

- 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. [詳細設定]を押す

4. [ズーム / 編集]を押して[スタンプ印字]を押す

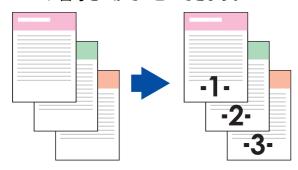
❑ ページ付け(p.91)
❑ 管理ナンバー印字(p.93)
❑ 日付印字(p.94)
❑ テキスト / ナンバー印字(p.95)

5. コピー部数を入力する

6. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後(お買い上げ時の設定:1 分)に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■ ページ付け

ページ番号をつけてコピーできます。

お知らせ

- 初期値は、-n-形式です。n/m形式に変更する操作については、『取扱説明書（ファンクション設定編）』の「3 章 コピー機能設定」を参照してください。
- 必ず、［ソート］を設定してください。
- ページ番号の開始番号を 1 ～ 999 までの間で設定できます。999 を超えた場合は、また 1 から印字されます。ページ番号の開始番号を設定しない場合は、1 から開始されます。

1. ［ページ付け］を押す

画面例：原稿を縦向き（ ）にセットしたとき

- この画面を表示する操作については、「スタンプ印字の基本的な操作」（p.90）の手順 1 ～ 4 を参照してください。

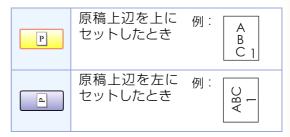
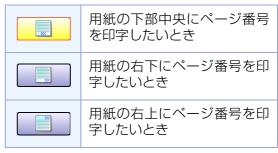
2. 原稿の向きを選択する

- 原稿上辺の方向に応じてボタンを選択します。

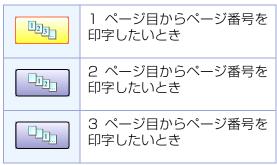
ボタン	説明	例
P	原稿上辺を上にセットしたとき	例：ABC 1
P（横向き）	原稿上辺を左にセットしたとき	例：ABC 1

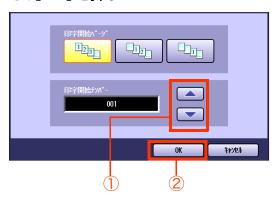
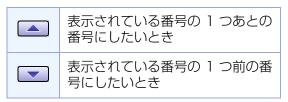
3. ページ番号を印字する位置を選択する

ボタン	説明
（下部中央）	用紙の下部中央にページ番号を印字したいとき
（右下）	用紙の右下にページ番号を印字したいとき
（右上）	用紙の右上にページ番号を印字したいとき

＜次ページへ続く＞

4. [変更]を押す

5. ページ番号を開始するページを選択する

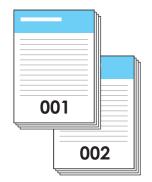
[1 2 3]	1 ページ目からページ番号を印字したいとき
[□ 1 2]	2 ページ目からページ番号を印字したいとき
[□ □ 1]	3 ページ目からページ番号を印字したいとき

6. [▲]、[▼]を使うか、またはテンキーを使ってページ番号の開始番号を入力し、[OK]を押す

▲	表示されている番号の 1 つあとの番号にしたいとき
▼	表示されている番号の 1 つ前の番号にしたいとき

- 1 ～ 999 の範囲で 1 刻みに設定できます。

7. [OK]を押す

- このあとの操作については、「スタンプ印字の基本的な操作」(p.90)の手順 5 ～ 6 を参照してください。

■ 管理ナンバー印字

001 ～ 999 までの通し番号をつけてコピーできます。

お知らせ

管理番号の開始番号を 001 ～ 999 までの間で設定できます。999 の次は、001 に戻ります。

1. [管理ナンバー印字] を押す

画面例:原稿を縦向き( )にセットしたとき

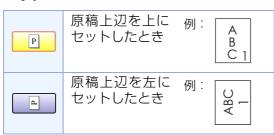
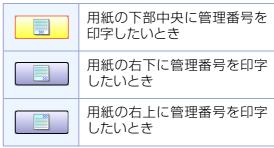
- この画面を表示する操作については、「スタンプ印字の基本的な操作」(p.90)の手順 1 ～ 4 を参照してください。

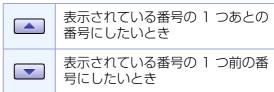
2. 原稿の向きを選択する

- 原稿上辺の方向に応じてボタンを選択します。

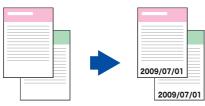
P	原稿上辺を上にセットしたとき	例：ABC 1
P	原稿上辺を左にセットしたとき	例：ABC 1

3. 管理番号を印字する位置を選択する

	用紙の下部中央に管理番号を印字したいとき
	用紙の右下に管理番号を印字したいとき
	用紙の右上に管理番号を印字したいとき

4. [▲]、[▼] を使うか、または管理番号の印刷開始ナンバーを入力し、[OK] を押す

▲	表示されている番号の 1 つあとの番号にしたいとき
▼	表示されている番号の 1 つ前の番号にしたいとき

- 001 ～ 999 の範囲で、1 刻みに設定できます。
- このあとの操作については、「スタンプ印字の基本的な操作」(p.90)の手順 5 ～ 6 を参照してください。

■ 日付印字

日付をつけてコピーできます。年 / 月 / 日形式で印字されます。

1. ［日付印字］を押す

画面例：原稿を縦向き（ ）にセットしたとき

- この画面を表示する操作については、「スタンプ印字の基本的な操作」（p.90）の手順 1 ～ 4 を参照してください。

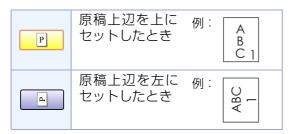
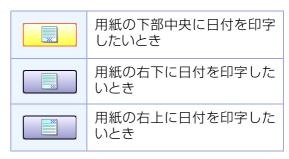
（p.90）

2. 原稿の向きを選択する

- 原稿上辺の方向に応じてボタンを選択します。

P	原稿上辺を上にセットしたとき	例：A B C 1
P	原稿上辺を左にセットしたとき	例：ABC 1

3. 日付を印字する位置を選択する

	用紙の下部中央に日付を印字したいとき
	用紙の右下に日付を印字したいとき
	用紙の右上に日付を印字したいとき

4. 日付を変更するときは次の操作をする

① ［変更］を押す

カーソルが表示されます。

② ◀ 、▶ を押して、変更したいところまでカーソルを移動させる

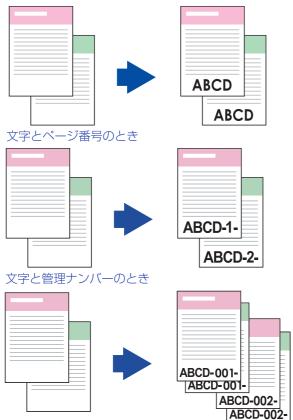
③ 日付を修正する

5. ［OK］を押す

- このあとの操作については、「スタンプ印字の基本的な操作」（p.90）の手順 5 ～ 6 を参照してください。

■ テキスト / ナンバー印字

任意の文字をつけてコピーできます。また、任意の文字にページ番号または管理ナンバー（通し番号）をつけてコピーすることもできます。

文字だけのとき

お知らせ

- 印字できる文字は、ページ番号、管理ナンバーを除いて 16 文字以内です。
- ページ番号と管理ナンバーは、ともに 001 ～ 999 まで入力できます。
- ページ番号は、「文字-n-」の形式で印字されます。例：「001」と入力した場合、「文字 -1-」と印字されます。
- フォントサイズは、2.7mm × 2.7mm です。

1. ［テキスト / ナンバー印字］を押す

画面例：原稿を縦向き（ ）にセットしたとき

- この画面を表示する操作については、「スタンプ印字の基本的な操作」（p.90）の手順 1 ～ 4 を参照してください。

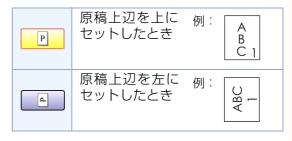
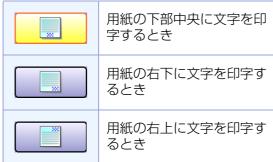
2. 原稿の向きを選択する

- 原稿上辺の方向に応じてボタンを選択します。

ボタン	説明	例
P	原稿上辺を上にセットしたとき	例：A B C 1
P（横向き）	原稿上辺を左にセットしたとき	例：ABC 1

＜次ページへ続く＞

3. 文字を印字する位置を選択する

	用紙の下部中央に文字を印字するとき
	用紙の右下に文字を印字するとき
	用紙の右上に文字を印字するとき

4. [変更]を押す

5. 文字を入力し、[OK]を押す

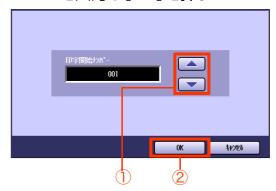
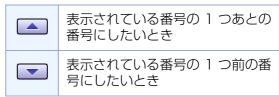
- 全角 16 文字まで入力できます。
- キーボードの使いかたについて、詳しくは「文字入力のしかた」(p.130)を参照してください。

手順 4 の画面に戻ります。

6. 文字にページ番号または管理番号をつけるときは、[ページ]または[管理ナンバー]を選択する

ページ	ページ番号をつけて印字するとき
管理ナンバー	000～999までの通し番号をつけて印字するとき

7. [▲]、[▼]を使うか、または印刷開始ナンバーを入力し[OK]を押す

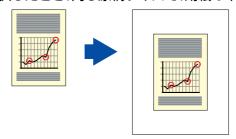
▲	表示されている番号の 1 つあとの番号にしたいとき
▼	表示されている番号の 1 つ前の番号にしたいとき

- 001～999の範囲で、1刻みに設定できます。

8. [OK]を押す

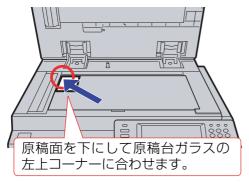
画面例：[ページ]を設定したとき

- このあとの操作については、「スタンプ印字の基本的な操作」(p.90)の手順 5 ～ 6 を参照してください。

■用紙の中央にコピーする [センタリング]

原稿サイズより大きい用紙を選択したとき、同じ原稿サイズで、用紙の中央にコピーできます。

お知らせ

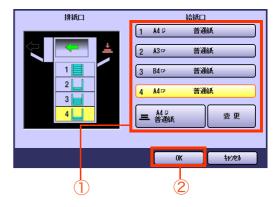
- この機能は、原稿台ガラスに原稿をセットしたときだけ、設定できます。
- 原稿台ガラス面が、周囲の光（蛍光灯など）の影響を受けると、原稿位置を誤って検知することがあります。

1.　原稿台ガラスに原稿をセットし、ADFを開けたままにする

- ADF は 45 度以上開けてください。
- 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」（p.10）を参照してください。

2.　他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3.　[詳細設定]を押す

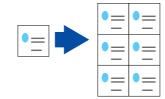
4.　[ズーム / 編集]を押して[センタリング]を押す

5.　用紙を選択し、[OK]を押す

6.　<スタート>を押す

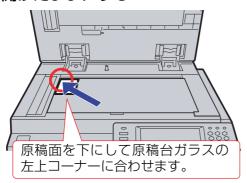
- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■画像を繰り返しコピーする [イメージリピート]

原稿の画像を1枚の用紙に繰り返してコピーできます。繰り返される画像の数は、用紙サイズに応じて自動的に設定されます。

原稿最小サイズ
20 mm x 20 mm.

お知らせ

- コピー画像間のミシン目を印刷しないときは、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「3 章　コピー機能設定」を参照してください。
- この機能は、原稿台ガラスに原稿をセットしたときだけ、設定できます。
- 原稿台ガラス面が、周囲の光(蛍光灯など)の影響を受けると、原稿位置を誤って検知することがあります。

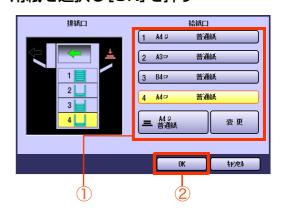
1. 原稿台ガラスに原稿をセットし、ADFを開けたままにする

- ADF は 45 度以上開けてください。
- 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

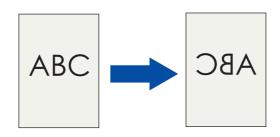
3. [詳細設定]を押す

4. [ズーム / 編集]を押して、[イメージリピート]を押す

5. 用紙を選択し[OK]を押す

6. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後(お買い上げ時の設定:1 分)に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■画像の左右を反転してコピーする ［鏡像］

原稿の画像の左右を反転してコピーできます。

お知らせ

- ［鏡像］は、初期値を変更できます。変更する操作については、『取扱説明書（ファンクション設定編）』の「3 章　コピー機能設定」を参照してください。

1.　原稿をセットする

- 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」（p.10）を参照してください。

2.　他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

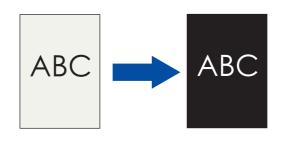
3.　［詳細設定］を押す

4.　［ズーム/編集］を押して、［鏡像］を押す

5.　<スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■原稿の白い部分と黒い部分を反転してコピーする [ネガポジ]

原稿の白い部分と黒い部分を反転してコピーできます。

お知らせ

[ネガポジ]の設定後に、[画質設定](p.21)を[白黒]以外に設定すると、[ネガポジ]の設定は解除されます。

1. 原稿をセットする

- 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

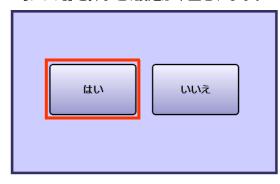
2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

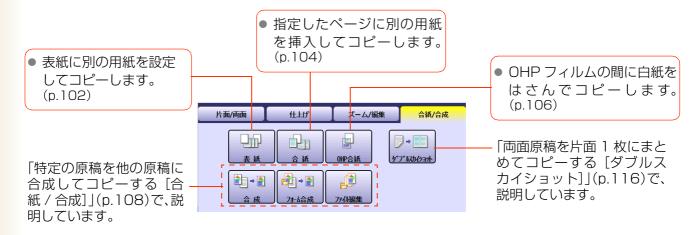
3. [詳細設定]を押す

4. [ズーム/編集]を押して、[ネガポジ]を押す

- [画質設定](p.21)が[カラー]の場合は、白黒に変換するかを確認する画面が表示されます。
  カラーを白黒に変換する場合は、[はい]を押します。
  [いいえ]を押すと、設定が中止されます。

5. <スタート>を押す

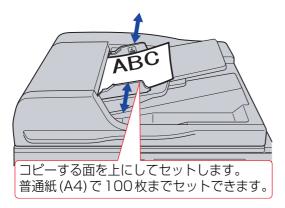
- 設定したコピー機能は、一定時間後(お買い上げ時の設定:1 分)に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

コピーに合紙や表紙をつける [合紙 / 合成]

詳細設定画面の[合紙 / 合成]タブでは、無地の表紙をつけたり、指定したページ(表示も含む)を別の給紙カセット(手差しトレイも含む)にセットされた色紙などにコピーしたりすることができます。

お知らせ

● この機能は、ADF に原稿をセットしたときに設定できます。

■表紙をつける [表紙]

表紙に別の用紙を設定してコピーできます。
また、表紙だけ設定したり、表紙と裏表紙を設定したりできます。

1. 原稿を ADF にセットする

● 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. [詳細設定]を押す

4. ［合紙 / 合成］を押して、［表紙］を押す

5. 表紙にコピーするかしないかを選択する

表紙（表） - 無地	表紙だけつけ、表紙にはコピーしないとき
表紙（表） - コピー	表紙だけつけ、表紙にもコピーするとき
表紙（表＋裏） - 無地	表紙と裏表紙をつけ、表紙と裏表紙にはコピーしないとき
表紙（表＋裏） - コピー	表紙と裏表紙をつけ、表紙と裏表紙にもコピーするとき

6. 表紙に使用する用紙の給紙カセット / 手差しトレイが表示されるまで、［表紙］を押す

- ［表紙］を押すごとに用紙の給紙口が切り替わります。
- 表紙以外の用紙も変更するときは、［コピー］を押して用紙の給紙口を設定します。

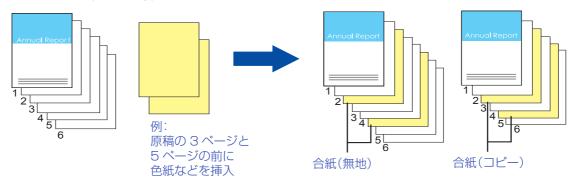
7. ［OK］を押す

8. コピー部数を入力する

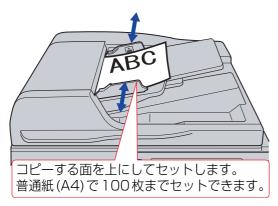
9. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■合紙を挿入する [合紙]

指定したページ(表紙も含む)を別の給紙カセット(手差しトレイも含む)にセットされた色紙などにコピーしたり、無地の色紙などを挿入してコピーしたりできます。

お知らせ

● この機能は、ADF に原稿をセットしたときに設定できます。

1. 原稿を ADF にセットする

● 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. [詳細設定] を押す

4. [合紙 / 合成] を押して、[合紙] を押す

5. 合紙にコピーするかしないかを選択する

無地	合紙にコピーしないとき
コピー	合紙にもコピーするとき

6. 合紙の用紙を変更するときは、使用する用紙の給紙カセット / 手差しトレイが表示されるまで[合紙]を押す

- [合紙]を押すごとに用紙の給紙口が切り替わります。
- 合紙以外の用紙も変更するときは、[コピー]を押して用紙の給紙口を設定します。

7. [OK]を押す

8. 合紙を挿入するページ番号を入力する

9. [▶] を押して、次の挿入ページ番号を入力する

- [◀] 、[▶] を押すと、挿入ページを入力する場所を移動できます。
- 挿入ページ番号は、1 ～ 99 までを入力できます。
- 20 か所まで入力できます。

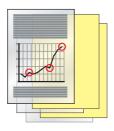
10. [OK]を押す

11. コピー部数を入力する

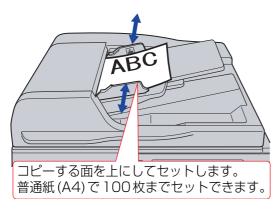
12. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■OHP 用紙に合紙を挿入する [OHP 合紙]

OHP フィルムの間に白紙をはさんでコピーできます

お知らせ

● この機能は、ADF に原稿をセットしたときに設定できます。

1. 原稿を ADF にセットする

● 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」（p.10）を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. OHP フィルムを手差しトレイにセットする

● 手差しトレイへの OHP フィルムのセットのしかたについては、『取扱説明書（メンテナンス編）』の「用紙の補給」を参照してください。

4. [詳細設定] を押す

5. [合紙 / 合成] を押して、[OHP 合紙] を押す

6. **OHP フィルムにはさむ用紙を変更するときは、使用する用紙の給紙カセットが表示されるまで[合紙]を押す**

- [合紙]を押すごとに用紙の給紙口が切り替わります。

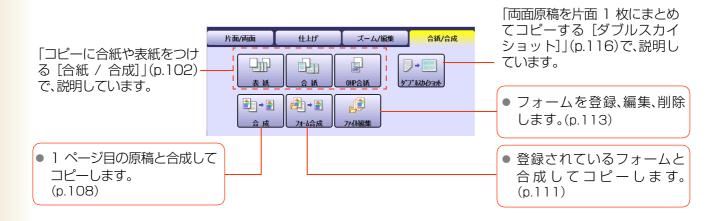
7. **[OK]を押す**

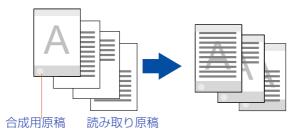
8. **コピー部数を入力する**

9. **<スタート>を押す**

- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

特定の原稿を他の原稿に合成してコピーする [合紙 / 合成]

詳細設定画面の[合紙 / 合成]タブでは、合成してコピーする設定ができます。

■ 1 ページ目の原稿と合成する [合成]

1 ページ目の原稿と合成してコピーできます。
1 ページ目の原稿を合成用原稿、2 ページ目以降の原稿を読み取り原稿と呼びます。

お知らせ

- 合成してコピーされるサイズは、A4 サイズだけです。
- カラーモードの[自動]は設定できません。
- 合成用原稿に、[エッジ]、[ブック]、[とじ代]の設定は適用されます。
- [表紙]、[合紙]のどちらかが設定されている場合、表紙や合紙にコピーしない設定のときは、表紙や合紙には合成コピーされません。
- ハードディスクが装着されていないときは、次のようになります。
  ・登録されるフォームは、1 件だけです。
  ・新しいフォームを登録すると、前のフォームに自動で上書きされます。
  ・電源をオフにすると、登録した合成フォームが消去されます。

1. **原稿をセットする**

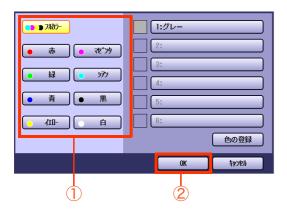
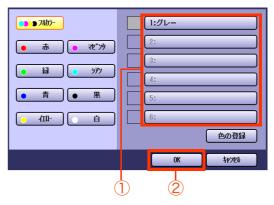
- 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

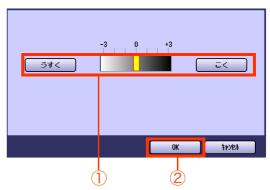
2. **他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す**

3. **[詳細設定]を押す**

4. **[合紙 / 合成]を押し、[合成]を押す**

5. **基本色、または登録色から合成用原稿の色を選択し、[OK]を押す**

❑ **基本色から選択するとき**

❑ **登録色から選択するとき**

- 色を登録する操作については、「お好み色を登録する ［色の登録］」(p.26)を参照してください。

6. **[うすく]、[こく]を押して合成用原稿の透かし濃度を設定し、[OK]を押す**

うすく	合成用原稿の濃度をうすくしたいとき
こく	合成用原稿の濃度を濃くしたいとき

7. **合成用原稿と読み取り原稿の上下関係を設定し、[OK]を押す**

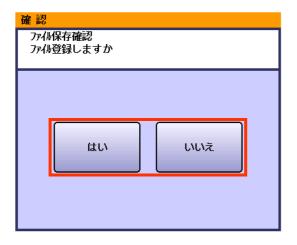
原稿を前面に合成	合成用原稿の上に読み取り原稿を合成コピーするとき
原稿を背面に合成	合成用原稿の下に読み取り原稿を合成コピーするとき

<次ページへ続く>

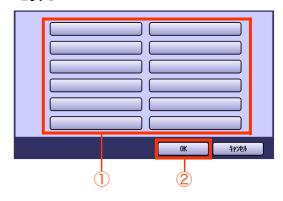
8. コピー部数を入力する

9. **<スタート>を押す**

コピーが終了したら、合成したファイルを保存するかどうか確認するメッセージが表示されます。

10. [はい]、または[いいえ]を選択する

はい	1 ページ目の原稿をフォームとして保存したいとき (保存したフォームは、[フォーム合成]で呼び出すことができます) ハードディスク装着時は、手順 11 に進んでください。
いいえ	1 ページ目の原稿をフォームとして保存しないとき

- ハードディスクが装着されていないときは、この操作で、フォームの登録が終了します。

11. ハードディスク装着時だけ、何も表示されていないボタンを選択し、[OK]を押す

- 名称が表示されたボタンを選択したときは、新しく読み取ったフォームデータが選択したボタンに上書き保存されます。

12. ボタン名を入力し、[OK]を押す

- 全角 10 文字まで入力できます。
- キーボードの使いかたについて、詳しくは「文字入力のしかた」(p.130)を参照してください。

■フォームと合成する ［フォーム合成］

登録されているフォームと合成してコピーできます。

お知らせ

- フォームとして保存されるサイズは、A4 だけです。
- カラーモードの［自動］は設定できません。
- フォームと原稿で、原稿の向きが異なるときは、合成時に回転してコピーされます。
- 原稿サイズの設定による拡大 / 縮小を設定すると、読み取り原稿は設定に応じて拡大 / 縮小されますが、フォームは、拡大 / 縮小されません。
- フォームに、［エッジ］と［ブック］の設定は適用されません。
- ［とじ代］の設定は、フォームにも適用されます。
- ［表紙］、［合紙］のどちらかが設定されている場合、表紙や合紙にコピーしない設定のときは、表紙や合紙には合成コピーされません。
- ハードディスクが装着されていないときは、電源をオフにすると、合成フォームが消去されます。
- 合成用のフォームが登録されていないときは、［フォーム合成］は設定できません。合成用のフォームを登録する操作については、「フォームを登録する ［ファイル編集］」（p.113）を参照してください。

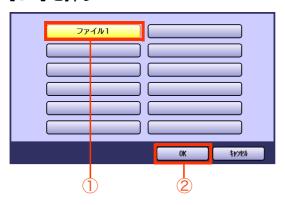
1. **原稿をセットする**

- 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」（p.10）を参照してください。

2. **他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す**

3. **［詳細設定］を押す**

4. **［合紙 / 合成］を押して［フォーム合成］を押す**

5. 登録されているフォームを選択し[OK]を押す

- フォームを登録する操作について詳しくは、「フォームの登録」(p.113)を参照してください。
- ハードディスクが装着されていないときは、この画面は表示されません。手順 6 に進んでください。

6. フォームと読み取り原稿の重なりの順序を設定し、[OK]を押す

原稿を前面に合成	フォームの上に読み取り原稿を合成コピーするとき
原稿を背面に合成	フォームの下に読み取り原稿を合成コピーするとき

7. コピー部数を入力する

8. <スタート>を押す

■フォームを登録する［ファイル編集］

合成用のフォームの登録、フォーム名の編集、フォームの削除ができます。

お知らせ

- 登録したフォームと合成する操作については、「フォームと合成する［フォーム合成］」(p.111)を参照してください。
- ハードディスクが装着されていないときは、[ファイル編集]でフォームを新規登録することはできませんが、[合成]で登録したフォームを削除することはできます。ただし、[合成]でフォームを登録したあとに、電源をオフにしたときは、フォームは自動的に削除されます。

■ フォームの登録

お知らせ

- 12 件までフォームタイトルをつけてフォームを登録できます。
- フォームに登録できるサイズは、A4 だけです。
- 登録後にフォームの透かし濃度、指定色を変更することはできません。
- カラーモードの[自動]を設定することはできません。

1. **合成用のフォームをセットする**

セットする向きによって、原稿方向が決定されます。

A4 原稿を縦にセットした場合	原稿方向:
A4 原稿を横にセットした場合	原稿方向:( )

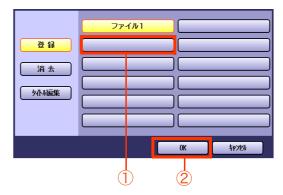
ただし、合成用のフォームの原稿によっては、上記と異なる場合があります。

- 原稿のセットと向きについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

2. **他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す**

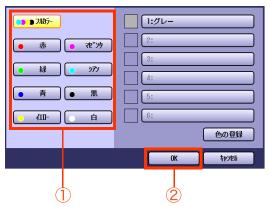
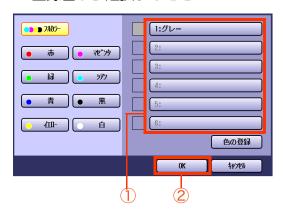
3. **[詳細設定]を押す**

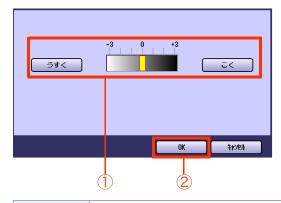
4. **[合紙 / 合成]を押して[ファイル編集]を押す**

5. **フォーム名が登録されていないボタンを押して、[OK]を押す**

- ハードディスクを装着していないときは、上記画面は表示されず、消去確認画面が表示されます。以降の手順は、必要ありません。

<次ページへ続く>

6. 基本色、または登録色からフォームの指定色を選択し、[OK]を押す

❏ 基本色から選択するとき

❏ 登録色から選択するとき

● 色を登録する操作については、「お好み色を登録する［色の登録］」(p.26)を参照してください。

7. [うすく]、[こく]を押してフォームの透かし濃度を設定し、[OK]を押す

うすく	フォームの濃度をうすくしたいとき
こく	フォームの濃度を濃くしたいとき

8. 次の画面が表示されたら<**スタート**>を押す

9. [はい]を押す

10. フォーム名を入力し、[OK]を押す

● 全角 10 文字以内で入力してください。

● キーボードの使いかたについて、詳しくは「文字入力のしかた」(p.130)を参照してください。

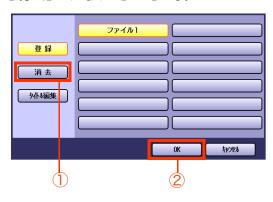
● 設定したコピー機能は、一定時間後(お買い上げ時の設定：1 分)に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、フォームの登録が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■ フォームの削除

フォームを削除することができます。

1. 削除するフォーム名を選択する

● この画面を表示する操作については、「フォームの登録」(p.113)の手順2～4を参照してください。

2. [消去]を選択し[OK]を押す

3. [はい]を押す

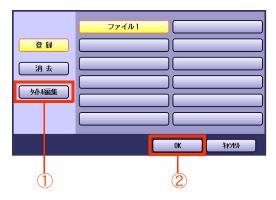
● 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、フォームの削除が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■ フォーム名の編集

フォーム名を編集することができます。

1. 名称を変更するフォーム名を選択する

● この画面を表示する操作については、「フォームの登録」(p.113)の手順2～4を参照してください。

2. [タイトル編集]を選択して[OK]を押す

3. フォーム名を変更し[OK]を押す

● 全角 10 文字以内で入力してください。

● キーボードの使いかたについて、詳しくは「文字入力のしかた」(p.130)を参照してください。

● 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、フォーム名の編集が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

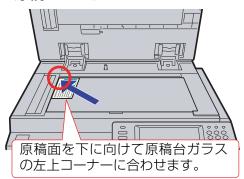
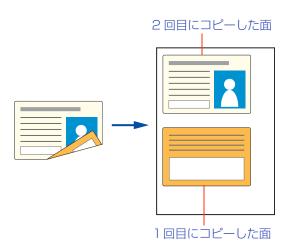
両面原稿を片面 1 枚にまとめてコピーする

[ダブルスカイショット]

ダブルスカイショットとは、A5 サイズ以下の両面原稿を片面ずつ読み取り、片面 1 枚に並べてコピーする機能です。ADF を開けたままコピーしても、コピーの周囲が黒く汚れません。

お知らせ

- ADF を開けた状態と閉じた状態のどちらでもコピーできます。
- 原稿台ガラス面が、周囲の光の影響を受けると、原稿位置を誤って検知することがあります。
- 下記のような原稿のときは、原稿が正しく検知されず、コピー画像がみだれることがありますので、ADFを閉じてコピーすることをお勧めします。
  ・白色に近い、色がうすい原稿で、原稿の右、または下 5 ㎜以内に黒い線がある場合
  ・黒色に近い、色が濃い原稿で、原稿の右、または下 5 ㎜以内に白い線がある場合

1. **コピーする面を下に向けて、原稿台ガラスに原稿をセットする**

- 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

2. **他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す**

3. **[詳細設定]を押す**

4. **[合紙 / 合成]を押して[ダブルスカイショット]を押す**

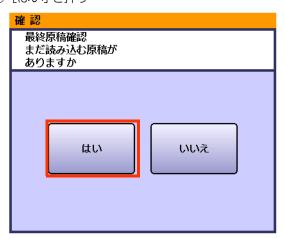
- ダブルスカイショットモードを設定したときの仕分けの初期値は、ノンソートです。ソートを設定するときは、ダブルスカイショットを設定したあとに設定してください。操作については、「ソート機能を設定する [ソート]/[ノンソート]/[回転ソート]/[回転スタック]/[シフトソート]/[シフトスタック]」(p.73)を参照してください。

5. コピー部数を入力する

6. **<スタート>を押す**

- 仕上げの設定（ソート／ノンソート）によって、手順が異なります。
  - ・ノンソートの場合：最初の原稿が読み取られたあとに、まだ読み込む原稿があるかどうかを確認する画面が表示されます。手順 7 に進んでください。
  - ・ソートの場合：最初の原稿が読み取られる前に、最終原稿かどうか確認する画面が表示されます。手順 8 に進んでください。

7. ノンソートのときは、次の手順で操作する

① ［はい］を押す

② 原稿台ガラスに、原稿の反対の面をセットする

③ **<スタート>**を押す

8. ソートのときは、次の手順で操作する

① ［いいえ］を押す

最初の原稿の読み取りが開始され、終了すると、「原稿を交換できます」というメッセージが表示されます。

② ［閉じる］を押す

③ 原稿台ガラスに、原稿の反対の面をセットする

④ **<スタート>**を押す
①の画面が表示されます。

⑤ 次に読み込む原稿がある場合は、手順①～④を繰り返す
最後の原稿の場合は［はい］を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

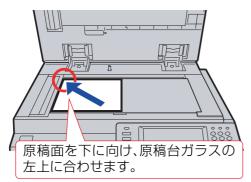
4章
その他のコピー

この章では、その他のコピー操作について説明しています。

ADF を開けたままコピーする [スカイショット]

スカイショットとは、ADF を開けたままコピーしてもコピーの周囲が黒くならない機能です。
お買い上げ時は、スカイショットが使用できるように設定されています。

お知らせ
- 原稿の周囲に余白(5mm 以下)がないときは、コピーの端に白いコピーむらが出ることがありますので、スカイショットモードをオフにしてコピーされることをお勧めします。
- スカイショットの切り替えは、ファンクション設定で行います。操作については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「3 章　コピー機能設定」を参照してください。
- この機能は、原稿台ガラスに原稿をセットしたときだけ、設定できます。
- 原稿台ガラス面が、周囲の光(蛍光灯など)の影響を受けると、原稿位置を誤って検知することがあります。

1. 原稿台ガラスに原稿をセットし、ADF を開けたままにしておく

- ADF は 45 度以上開けてください。
- 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. 必要に応じて、読み取りの設定をする

4. コピー部数を入力する

5. <スタート>を押す

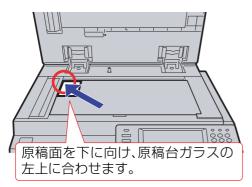
- [ソート]を設定しているときは、読み取りが終了すると、セットした原稿が最終原稿かどうか確認する画面が表示されます。画面のメッセージにしたがって進めてください。
- 設定したコピー機能は、一定時間後(お買い上げ時の設定:1 分)に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

設定された範囲だけをコピーする [伝票モード]

伝票モードとは、ジョブメモリーのM1、またはM2にあらかじめ設定されているサイズで原稿を読み取る機能です。ADFを開けたままコピーしても、指定したサイズの外側のコピーが黒くなりません。

お知らせ

- お買い上げ時は、伝票モードが設定されていません。お使いになる前に、ファンクション設定で伝票モードに設定してください。また、M1、M2の初期値は変更できます。伝票モードの設定、および M1、M2 の初期値を変更する操作については、『取扱説明書（ファンクション設定編）』の「3 章　コピー機能設定」を参照してください。
- 原稿の端に黒い線があるときは、黒い部分を正しくコピーできないことがあります。
- 伝票モードが設定されている場合、[ソート]、[パンチ]、[シフトソート]、[シフトスタック]、[回転ソート]、[回転スタック]、[ステープルソート]は使用できません。

1. 原稿台ガラスに原稿をセットする

- 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

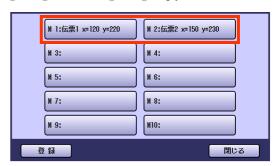
2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. 必要に応じて、読み取りの設定をする

4. [ジョブメモリー]を押す

5. [M1]、または[M2]を押す

M1	120 ㎜× 220 ㎜（初期値）
M2	150 ㎜× 230 ㎜（初期値）

<次ページへ続く>

6. [閉じる]を押すか、または数秒待つ

7. コピー部数を入力する

8. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

コピー印刷中に次のコピーを予約する [コピー予約]

コピー印刷中に次のコピー原稿を読み取らせることができます。

お知らせ

- この機能は、ハードディスクが装着されているときに使用できます。
- 予約したコピーは、予約後に給紙口の変更(給紙カセットから手差しトレイへの変更)、または手差しトレイの用紙サイズや用紙種別の変更をすることができません。
- 予約できるコピージョブ数は、最大 12 です。
- ファンクション設定の[コピー機能設定]>[34 キーオペレーター専用]>[41 コピー予約時の設定クリア]が[しない]に設定されている場合、予約前のコピー設定が保持されます。
- コピー予約に関するファンクション設定については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「3 章 コピー機能設定」を参照してください。

1. コピー印刷中に、次の原稿をセットする

- 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」(p.10)を参照してください。

2. [コピー予約]を押す

- 手順 1 で ADF に原稿をセットしたときは、自動的に手順 3 の画面に切り替わるので、[コピー予約]を押す必要はありません。

3. 必要に応じて、読み取りの設定をする

4. コピー部数を入力する

5. <スタート>を押す

コピーの印刷が中止されることなく、セットした原稿がハードディスクへ読み取られます。コピーの印刷が終了したら、ハードディスクへ読み取られた原稿の印刷が開始されます。

コピー/ プリント中に急ぎのコピーを割り込ませる［割り込み］

コピー/ プリントの排出の途中で、割り込んでコピーできます。割り込んだコピーが終了したあとは、元のコピー/ プリントを続けることができます。

お知らせ

- 原稿読み取り中に**<割り込み>**を押すことはできますが、割り込むコピーは、原稿が読み取られ、一部目の印刷が終了するまで開始されません。
- **<割り込み>**を押しても印刷（コピー/ プリント）の状況により、すぐに停止して割り込み操作をすることができない場合があります。そのときは、しばらくお待ちください。
- 割り込みコピーをするときは、現在コピー中の方の了承を得たうえで、行ってください。

1. コピー/プリントの途中で、<割り込み>を押す

2. 原稿をセットする

- 原稿のセットについては、「原稿セットのしかた」（p.10）を参照してください。

3. 必要に応じて読み取りの設定をする

4. コピー部数を入力する

5. <スタート>を押す

6. 手順２～５を繰り返し、割り込みコピーをする

7. 割り込みコピーが終わったら、<割り込み>を押す

プリント中に割り込みコピーしたときは、プリントが再開します。

8. コピー中に割り込みコピーしたときのみ、<スタート>を押す

元のコピーが再開します。

5章
必要なとき

この章では、コピー動作組み合わせ一覧、文字入力のしかた、仕様について説明しています。

コピー動作組み合わせ一覧

あとの機能設定／最初の機能設定	片面→両面	両面→片面	両面→両面	ページ連写	ブック→両面	Nイン1	ブックレット	原稿混載	SADF	ソート	ノンソート	シフトソート	シフトスタック	回転ソート	回転スタック	ステープルソート	パンチ	ズーム	オートズーム
片面→両面	/	A	A	A	A	*2	A												
両面→片面	A	/	A	A	A	*2	A												x
両面→両面	A	A	/	A	A	*2	A												x
ページ連写	A	A	A	/	A	A	A	x											x
ブック→両面	A	A	A	A	/	A	A	x											x
N イン 1	A	A	A	A	A	/	A	x											x
ブックレット	A	A	A	A	A	A	/	x		x	x	x	x	x	x	x	x		x
原稿混載				x	x	x	x	/	x					*3	*3				x
SADF								x	/										x
ソート							A			/	A	A	A	A	A	A			
ノンソート							A			A	/	A	A	A	A	A			
シフトソート *1							A			A	A	/	A	/	/	A			
シフトスタック *1							A			A	A	A	/	/	/	A			
回転ソート							A	*3		A	A	/	/	/	A	x	x		A
回転スタック							A	*3		A	A	/	/	A	/	x	x		x
ステープルソート *1							*4			A	A	A	A	x	x	/			
パンチ *1							A							x	x		/		
ズーム																		/	A
オートズーム		x	x	A	A	A	x	A	x					x	x			A	/
エッジ																			x
ブック						x	x												x
とじ代							x												x
スタンプ印字				x	x						x		x		x				x
センタリング		x	x	A	A	A	x	A	x					x	x				
イメージリピート	A	x	x	A	A	A	x	A	x					x	x				x
鏡像																			
ネガポジ																			
表紙				x	x	x	x	x	x		x		x	x	x				x
合紙				x	x	x	x	x	x		x		x	x	x				x
OHP 合紙	x		x	x	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x	x	x		x
合成				x	x	x	x	x										x	x
フォーム合成				x	x	x	x	x										x	x
スカイショット		x	x				x	x	x						x				
伝票モード	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x		x
終了通知																			
割り込み																			
試しコピー																			
ダブルスカイショット	x	x	x	x	x	x	x	x	x						x				x

空白 : 組み合わせて設定できます。
x: 組み合わせて設定できません。
A: あとから設定した機能が優先されます。
/: 組み合わせが存在しません。

*1: フィニッシャーが装着されているときに設定できます。

	1 ビンフィニッシャー(DA-FS402W)	1 ビンサドルフィニッシャー(DA-FS405W)
シフトソート	設定できます。	設定できます。
シフトスタック	設定できます。	設定できます。
回転ソート	設定できません。	設定できません。
回転スタック	設定できません。	設定できません。
ステープルソート	左上、または、右上 1 か所に設定できます。	次の 5 か所に設定できます。 ・左上1か所　・右上1か所　・上部2か所　・左側2か所　・右側2か所
パンチ	設定できません。	パンチユニット(DA-SP41)装着時に、設定できます。

*2: [N イン 1]の画面で設定できます。
*3: 用紙サイズを統一するときだけ設定できます。
*4: ブックレットコピー時は、半分に折ったときに本のように加工するため、中とじになります。

あとの機能設定 / 最初の機能設定	エッジ	ブック	とじ代	スタンプ印字	センタリング	イメージリピート	鏡像	ネガポジ	表紙	合紙	OHP合紙	合成	フォーム合成	スカイショット	伝票モード	終了通知	割り込み	試しコピー	ダブルスカイショット
片面→両面						x					A				A		A		A
両面→片面					x	x								x	A		A		A
両面→両面					x	x					A			x	A		A		A
ページ連写				x	x	x			A	A	A	x	x		A		A		A
ブック→両面				x	x	x			A	A	A	x	x		A		A		A
N イン 1		x			x	x			A	A	A	x	x		A		A		A
ブックレット		x	x		x	x			A	A	A	x	x	x	A		A		A
原稿混載					x	x			A	A	A	x	x	x	A		A		A
SADF					x	x			A	A	A			x	A		A		A
ソート											A				A		A		A
ノンソート				*5					A	A					A		A		A
シフトソート *1											A				A		A		A
シフトスタック *1				*5					A	A	A				A		A		A
回転ソート					A	A			A	A	A				A		A		A
回転スタック				*5	x	x			A	A	A			x	A		A		A
ステープルソート *1											A				A		A		A
パンチ *1											A				A		A		A
ズーム												A	A		A		A		A
オートズーム	x	x	x	x		x			x	x	x	A	A		A		A		A
エッジ	/				x	A									A		A		A
ブック		/			x	A									A		A		A
とじ代			/		x	A									A		A		A
スタンプ印字				/	x	x								x	A		A		A
センタリング	x	x	x	x	/	A			x	x	x	A	A		A		A		A
イメージリピート	x	x	x	x	A	/			x	x	x	A	A		A		A		A
鏡像							/								A		A		A
ネガポジ								/				x	x		A		A		A
表紙					x	x			/		A			x	A		A		A
合紙					x	x				/	A			x	A		A		A
OHP 合紙					x	x			A	A	/			x	A		A		A
合成					x	x		x				/	A		A		x		A
フォーム合成					x	x		x				A	/		A		x		A
スカイショット				x					x	x	x			/	A		A		A
伝票モード					x	x			x	x	x	x	x	x	/		A		A
終了通知																/	A		
割り込み															x		/		
試しコピー																	A	/	
ダブルスカイショット		x			x	x			x	x	x	x	x		A		A		/

空白：組み合わせて設定できます。
x:　組み合わせて設定できません。
A:　あとから設定した機能が優先されます。
/:　組み合わせが存在しません。

*5: スタンプ印字機能の管理番号を選択したときは、ノンソート / シフトスタック / 回転スタックを選択しても、ソート機能に自動で切り替わります。
*6: [フォーム合成]では、ハードディスクが装着されていないときは、電源をOFFにすると、登録された合成用原稿は削除されます。

文字入力のしかた

本機で文字を入力する場合、操作の内容に応じて、英数専用、かな漢字変換の 2 種類の画面が表示されます。
英数専用画面、かな漢字変換画面、それぞれの画面での文字入力の操作は次のとおりです。

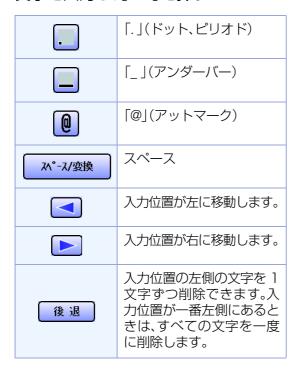
■英数専用画面の操作

例：E メールアドレスを［キーボード］から直接入力するとき

❑ アルファベットを入力する

1. 小文字と大文字を切り替える場合は、［大文字］を押す

2. 文字を入力し、［OK］を押す

ボタン	説明
.	「.」（ドット、ピリオド）
_	「_」（アンダーバー）
@	「@」（アットマーク）
ｽﾍﾟｰｽ/変換	スペース
◀	入力位置が左に移動します。
▶	入力位置が右に移動します。
後 退	入力位置の左側の文字を 1 文字ずつ削除できます。入力位置が一番左側にあるときは、すべての文字を一度に削除します。

❑ 数字を入力する

1. ［数字 / 記号］を押す

2. 数字を入力し、［閉じる］を押す

ボタン	説明
後 退	入力位置の左側の文字を 1 文字ずつ削除できます。
↑ ↓	数字 / 記号の次候補・前候補の画面を表示できます。

❑ 記号を入力する

1. [数字 / 記号] を押す

2. ↑または↓を押し、入力したい記号の画面を表示する

3. 入力したい記号を選択し、[閉じる] を押す

後 退	入力位置の左側の文字を１文字ずつ削除できます。
↑ ↓	数字 / 記号の次候補･前候補の画面を表示できます。

■かな漢字変換画面の操作

漢字、ひらがな、カタカナを入力するには、次の 3 つの方法があります。
例:ファクスのアドレス帳を登録するとき

入力のしかた	説明
かな漢字変換	ローマ字変換で漢字を入力できます。 例: [T] [O] [U] [K] [Y] [O] [U] を入力して [スペース / 変換] を押す　⇒　東京
熟語の入力	あらかじめ本機に登録されている熟語(都道府県名、都市名、企業の部署名など)から、文字を選択できます。 例: [熟語] を押して選択　⇒　東北　関東　東海　北陸　.... ● 入力できる熟語については、『取扱説明書(ファクス / インターネット FAX 編)』の「付録 E　熟語・記号一覧」を参照してください。
区コードを使った文字入力	区コードを入力して文字を 1 文字ずつ入力できます。 読み方のわからない文字や、かな漢字変換で表示できない文字の入力に便利です。 例:「ヶ」を入力したい [区コード] を押し、テンキーで [0] [5] [8] [6] を入力　⇒　ヶ ● 区コードについては、『取扱説明書(ファクス / インターネット FAX 編)』の「付録 D　区コード一覧」を参照してください。

お知らせ

- かな漢字変換では、変換用に入力できる文字は 10 文字までです。
- 数字と記号の入力については、「英数専用画面の操作」(p.130)を参照してください。
- 入力できる記号については、『取扱説明書(ファクス/インターネットFAX編)』の「付録E 熟語・記号一覧」を参照してください。

❑ かな漢字変換

1. [かな漢モード]が表示されていることを確認する

- [カナモード]、[全英大モード]、[全英小モード]が表示されている場合は、ボタンを押して[かな漢モード]に切り替えてください。

2. ローマ字変換で文字を入力する

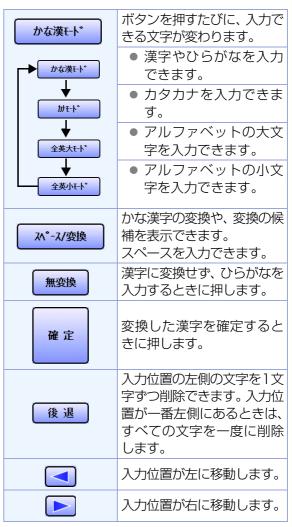
(例:TOUKYOU)

- ローマ字については、「ローマ字入力」(p.135)を参照してください。

3. [スペース / 変換]を押す

- 希望する文字が表示されなかったときは、もう一度[スペース / 変換]を押し変換候補の画面から選択します。
- かな漢字変換をしない場合は[無変換]を押します。

(例:東京)

ボタン	説明
かな漢ﾓｰﾄﾞ	ボタンを押すたびに、入力できる文字が変わります。
かな漢ﾓｰﾄﾞ	● 漢字やひらがなを入力できます。
ｶﾅﾓｰﾄﾞ	● カタカナを入力できます。
全英大ﾓｰﾄﾞ	● アルファベットの大文字を入力できます。
全英小ﾓｰﾄﾞ	● アルファベットの小文字を入力できます。
ｽﾍﾟｰｽ/変換	かな漢字の変換や、変換の候補を表示できます。 スペースを入力できます。
無変換	漢字に変換せず、ひらがなを入力するときに押します。
確 定	変換した漢字を確定するときに押します。
後 退	入力位置の左側の文字を1文字ずつ削除できます。入力位置が一番左側にあるときは、すべての文字を一度に削除します。
◀	入力位置が左に移動します。
▶	入力位置が右に移動します。

4. 変換した文字を確定するときは、[確定]を押す

(例:東京)

- [無変換]を押した場合や、変換候補から選択した場合は、[確定]を押す必要はありません。

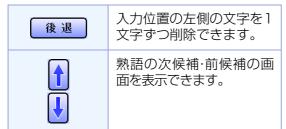
❑ 熟語の入力

1. **[熟語] を押す**

- 入力できる熟語については、『取扱説明書（ファクス / インターネットFAX 編）』の「付録 E 熟語･記号一覧」を参照してください。

2. **↑または↓を押し、入力したい熟語の画面を表示する**

3. **入力したい熟語を選択し、[閉じる] を押す**

後 退	入力位置の左側の文字を 1 文字ずつ削除できます。
↑ ↓	熟語の次候補･前候補の画面を表示できます。

❑ 区コードでの文字入力

1. **「取扱説明書 CD」内『取扱説明書（ファクス / インターネット FAX 編）』の「付録 D 区コード一覧」で、入力したい文字の区コードを調べておく**

2. **[区コード] を押す**

3. **テンキーで区コードを入力する**

入力した区コードの文字がキーボードの画面に表示されます。

❑ ローマ字入力

あ	A	い	I	う	U	え	E	お	O
か	KA	き	KI	く	KU	け	KE	こ	KO
さ	SA	し	SI/SHI	す	SU	せ	SE	そ	SO
た	TA	ち	TI/CHI	つ	TU/TSU	て	TE	と	TO
な	NA	に	NI	ぬ	NU	ね	NE	の	NO
は	HA	ひ	HI	ふ	HU/FU	へ	HE	ほ	HO
ま	MA	み	MI	む	MU	め	ME	も	MO
や	YA			ゆ	YU			よ	YO
ら	RA	り	RI	る	RU	れ	RE	ろ	RU
わ	WA			を	WO			ん	NN
が	GA	ぎ	GI	ぐ	GU	げ	GE	ご	GO
ざ	ZA	じ	ZI/JI	ず	ZU	ぜ	ZE	ぞ	ZO
だ	DA	ぢ	DI	づ	DU	で	DE	ど	DO
ば	BA	び	BI	ぶ	BU	べ	BE	ぼ	BO
ぱ	PA	ぴ	PI	ぷ	PU	ぺ	PE	ぽ	PO
ぁ	XA/LA	ぃ	XI/LI	ぅ	XU/LU	ぇ	XE/LE	ぉ	XO/LO
				っ	XTU/LTU				
ゃ	XYA/LYA			ゅ	XYU/LYU			ょ	XYO/LYO
きゃ	KYA	きぃ	KYI	きゅ	KYU	きぇ	KYE	きょ	KYO
ぎゃ	GYA	ぎぃ	GYI	ぎゅ	GYU	ぎぇ	GYE	ぎょ	GYO
しゃ	SYA/SHA	しぃ	SYI	しゅ	SYU/SHU	しぇ	SYE/SHE	しょ	SYO/SHO
じゃ	JYA/JA	じぃ	JYI	じゅ	JYU/JU	じぇ	JYE/JE	じょ	JYO/JO
ちゃ	TYA/CHA	ちぃ	TYI/CYI	ちゅ	TYU/CHU	ちぇ	TYE/CHE	ちょ	TYO/CHO
ぢゃ	DYA	ぢぃ	DYI	ぢゅ	DYU	ぢぇ	DYE	ぢょ	DYO
てゃ	THA	てぃ	THI	てゅ	THU	てぇ	THE	てょ	THO
でゃ	DHA	でぃ	DHI	でゅ	DHU	でぇ	DHU	でょ	DHO
にゃ	NYA	にぃ	NYI	にゅ	NYU	にぇ	NYE	にょ	NYO
ひゃ	HYA	ひぃ	HYI	ひゅ	HYU	ひぇ	HYE	ひょ	HYO
びゃ	BYA	びぃ	BYI	びゅ	BYU	びぇ	BYE	びょ	BYO
ぴゃ	PYA	ぴぃ	PYI	ぴゅ	PYU	ぴぇ	PYE	ぴょ	PYO
ふぁ	FA	ふぃ	FI			ふぇ	FE	ふぉ	FO
ふゃ	FYA	ふぃ	FYI	ふゅ	FYU	ふぇ	FYE	ふょ	FYO
みゃ	MYA	みぃ	MYI	みゅ	MYU	みぇ	MYE	みょ	MYO
りゃ	RYA	りぃ	RYI	りゅ	RYU	りぇ	RYE	りょ	RYO

仕様

		DP-C3040ZFS	DP-C3040Z	DP-C3030ZFS	DP-C3030Z	DP-C2626ZFS	DP-C2626ZF
形式		コンソール型					
原稿台方式		固定					
複写原稿		シート・ブック（最大 A3）					
複写方式		レーザー電子写真方式					
定着方式		IH 定着方式　（IH：Induction Heating）					
現像方式		乾式 2 成分現像方式					
解像度		600 dpi					
操作表示方式		液晶ディスプレイ					
複写サイズ / 用紙サイズ		A3、B4、A4▯、A4▭、B5▯、B5▭、A5▯、A5▭、はがき （はがきは手差しトレイ） 画像欠け幅：先端 3 ～ 5 mm、後端 2 ～ 6 mm、手前 / 奥 4 mm 以内					
ウォームアップタイム 電源投入時 （室温 20 ℃の場合）		約 19 秒	約 15 秒	約 19 秒	約 15 秒	約 19 秒	約 19 秒
		（フィニッシャー、ファクス、インターネット FAX、またはハードディスク装着時はウォームアップタイムが長くなります。）					
ファーストコピータイム (A4 で、給紙カセット1を使用した場合)	カラー	約 10.3 秒以内		約 10.3 秒以内		約 10.3 秒以内	
	白黒	約 6.2 秒以内		約 6.7 秒以内		約 7.3 秒以内	
連続複写速度 (A4 で、給紙カセット1を使用した場合)	カラー	約 30 枚 / 分		約 30 枚 / 分		約 26 枚 / 分	
	白黒	約 40 枚 / 分		約 30 枚 / 分		約 26 枚 / 分	
複写倍率		等倍　：100 % プリセット拡大：115 %、122 %、141 %、163 %、173 %、200 % プリセット縮小：50 %、58 %、61 %、71 %、82 %、87 % ズーム　：25 ～ 400 %（1 % きざみ）					
給紙方式		給紙カセット：550 枚（80 g/m^2）× 4 段 手差しトレイ：100 枚（80 g/m^2）					
用紙厚		給紙カセット：64 ～ 169 g/m^2 手差しトレイ：55 ～ 256 g/m^2					
	両面印刷時	給紙カセット：64 ～ 169 g/m^2 手差しトレイ：64 ～ 256 g/m^2					
連続複写枚数		最大 999 枚					
排紙トレイ 排紙枚数		オプション未装着時：250 枚 /A4（80 g/m^2） フィニッシャーまたは搬送ユニット装着時：150 枚 /A4（80 g/m^2） 許容枚数は用紙種別によって異なります。排紙トレイの用紙が許容枚数を超えると、機械が停止し、エラーメッセージが表示されます。					
SD カードスロット		SD メモリーカード（最大 2 GB）/SDHC メモリーカード (最大 32 GB) 対応					
USB メモリースロット		USB メモリー（FAT16 または FAT32 フォーマット）対応					
電源		AC 100 V、50 Hz/60 Hz					
消費電力	最大	1.5 kW 以下					
	節電モード時	75 W	65 W	75 W	65 W	75 W	65 W
	スリープモード時	15 W	15 W	15 W	15 W	15 W	15 W
寸法（幅×奥行き×高さ）		約 664mm x 約 774 mm x 約 1200 mm					
質量		約 190 kg （スキャナー部 : 約 39 kg / エンジン部 : 約 123 kg / 給紙カセット部 : 約 28 kg）					

●製品改良のため、記載事項が一部変更になることがありますのでご了承ください。

索引

英数字

あ

い

う

え

お

か

き

け

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

て

と

ね

の

は

ひ

ふ

へ

み

む

め

も

よ

り

れ

わ